

第5次海田町総合計画

住民アンケート調査結果

令和元年 12 月
海田町

目 次

I 調査概要 3

- 1 調査の概要 3
 - (1) 調査目的 3
 - (2) 調査対象及び調査方法 3
 - (3) 回収結果 3
- 2 本調査報告書の基本的な事項 4
 - (1) 数値の基本的な取り扱いについて 4

II 調査結果 7

- 1 あなたご自身のことについて 7
- 2 愛着度、住みやすさや定住意向について 10
 - (1) まちへの愛着度 10
 - (2) まちの特色 12
 - (3) まちの自慢できるもの 13
 - (4) 地区の住みよさ 15
 - (5) 地区の居住環境 17
 - (6) 定住の意向 19
- 3 まちの現状と今後の取組について 24
 - (1) 満足度 24
 - (2) 重要度 27
 - (3) 優先度（満足度と重要度の相関） 29
- 4 住民活動等について 32
 - (1) 地域活動・ボランティア活動 32
 - (2) 住民参画・協働のまちづくり 37
- 5 これからのまちづくりについて 38
 - (1) 特色あるまちづくり 38
 - (2) 地区の将来像 40
 - (3) 町の都市づくり 42
 - (4) 訪問人数の増加 43
 - (5) 子育て支援 44
 - (6) 高齢社会への対応 45
 - (7) 消防・防災対策 46

I 調査概要

I 調査概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、令和3年度からはじまる「第5次海田町総合計画」の策定にあたり、本町にお住まいの方を対象に、今後の施策の方向性やニーズ等を把握し、住みよいまちづくりへの基礎資料を得ることや町政に対するご意見等をお聞かせ頂くことで、住民の皆様の声を計画策定に反映するため実施しました。

(2) 調査対象及び調査方法

項 目	内 容
調 査 対 象	海田町にお住まいの16歳以上の町民
配 布 数	3,000
抽 出 法	無作為抽出
調 査 方 法	郵送法（郵送による配布・回収）
調 査 時 期	令和元年9月
調 査 地 域	町内全域

(3) 回収結果

配 布 数	3,000		
回 収 数	1,026	回収率	34.2%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
- ②基数となるべき実数(回答者数)は、“n = ○○○”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③設問に対する回答率の合計は、少数第2位の四捨五入により100%とならない場合があります。
- ④複数回答の設問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い設問であることから、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ⑤文中、グラフ中の選択肢の文言は、一部簡略化して表現している場合があります。
- ⑥調査対象者の属性については、調査票記入時点の年齢(2019年7月)で集計しています。

II 調査結果

II 調査結果

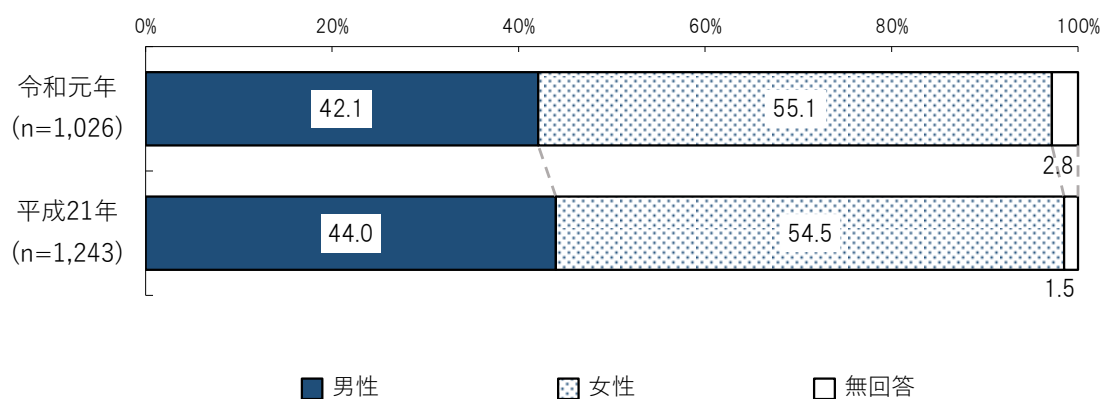
1 あなたご自身のことについて

(1) あなたの性別（1つに○印）

回答者の性別構成は、「男性」が42.1%、「女性」が55.1%となっています。

【前回調査との比較】

「男性」が1.9ポイント減少、「女性」が0.6ポイント増加しています。

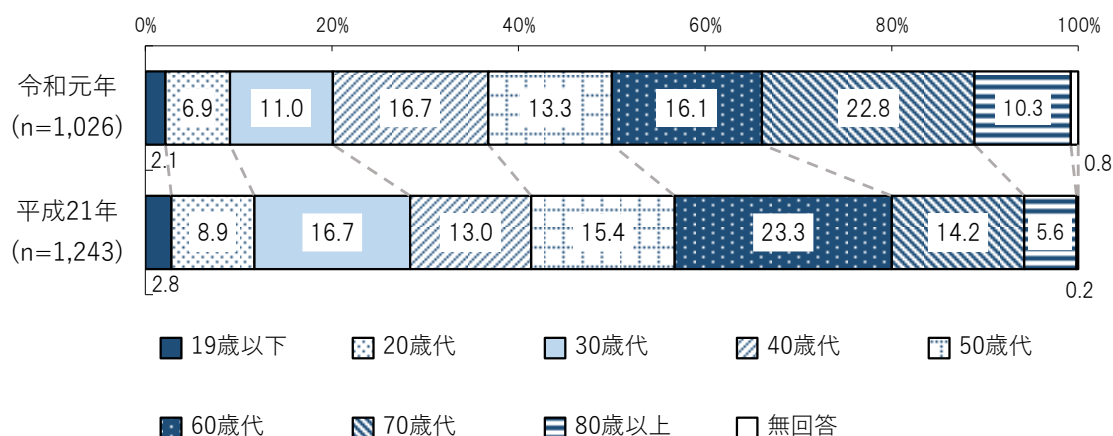


(2) あなたの年齢（1つに○印）

回答者の年齢構成については、「70歳代」が22.8%と最も多く、次いで「40歳代」(16.7%)、「60歳代」(16.1%)、「50歳代」(13.3%)、「30歳代」(11.0%)、「80歳以上」(10.3%)、「20歳代」(6.9%)、「19歳以下」(2.1%)の順となっています。

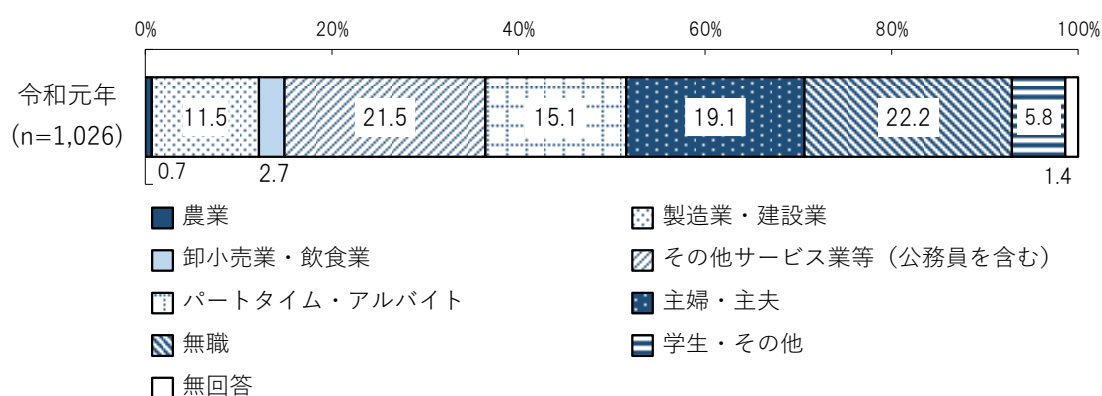
【前回調査との比較】

「20歳代」(2.0ポイント)、「30歳代」(5.7ポイント)、「50歳代」(2.1ポイント)、「60歳代」(7.2ポイント)などが減少、「40歳以上」(3.7ポイント)、「70歳」(8.6ポイント)、「80歳以上」(4.7ポイント)が増加しています。



(3) あなたの職業（1つに○印）

回答者の職業については、「その他サービス業等（公務員を含む）」が 21.5%と最も多く、次いで「無職」(22.2%),「主婦・主夫」(19.1%),「パートタイム・アルバイト」(15.1%),「製造業・建設業」(11.5%),「学生・その他」(5.8%),「農業」(0.7%)の順となっています。

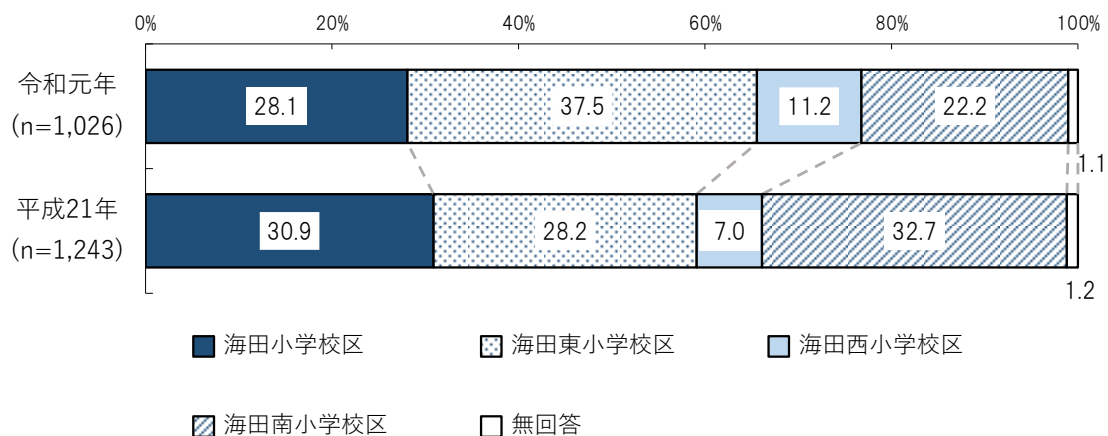


(4) あなたの居住地（1つに○印）

回答者の居住地区については、「海田東小学校区」が 37.5%と最も多く、次いで「海田小学校区」(28.1%),「海田南小学区」(22.2%),「海田西小学校区」(11.2%)の順となっています。

[前回調査との比較]

「海田東小学校区」(9.3 ポイント),「海田西小学校区」(4.2 ポイント)が増加,「海田南小学校区」(10.5 ポイント),「海田小学校区」(2.8 ポイント)が減少しています。

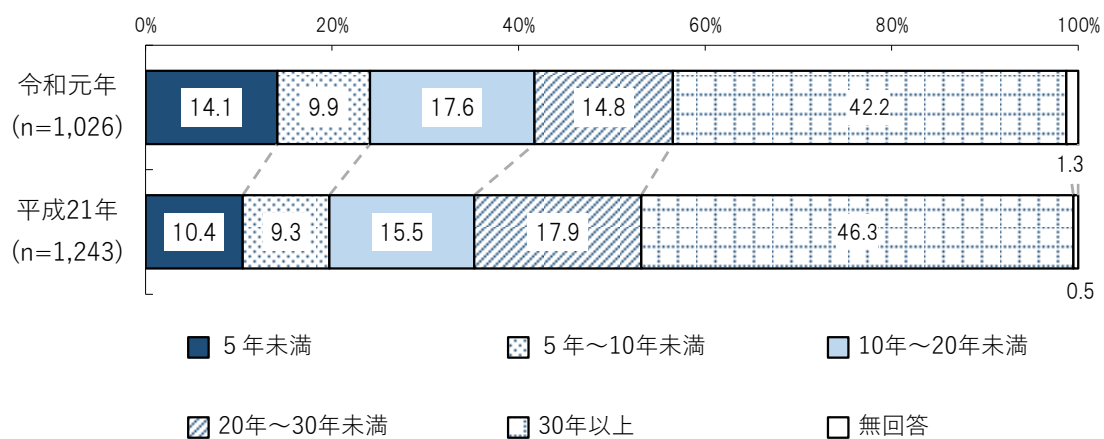


(5) あなたの居住歴（1つに○印）

回答者の居住歴については、「30年以上」が42.2%と最も多く、次いで「10年～20年未満」（17.6%）、「20年～30年未満」（14.8%）、「5年未満」（14.1%）、「5年～10年未満」（9.9%）の順となっています。

〔前回調査との比較〕

「5年未満」（3.7ポイント）、「10年～20年未満」（2.1ポイント）などが増加、「30年以上」（4.1ポイント）、「20年～30年未満」（3.1ポイント）が減少しています。



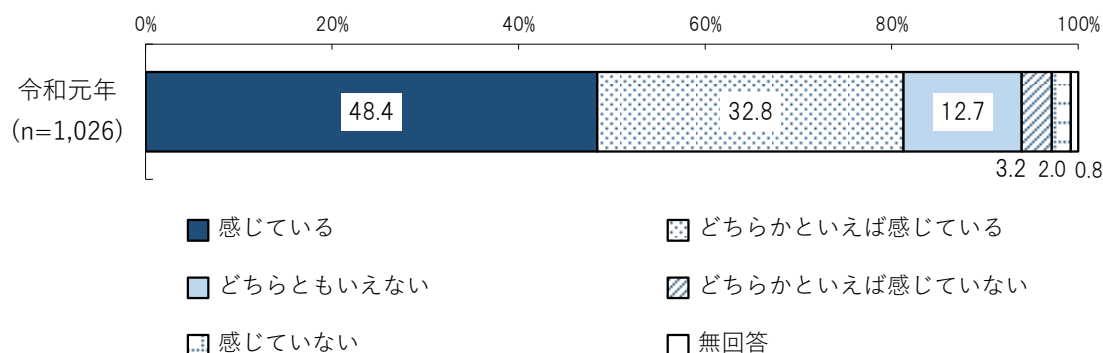
2 愛着度、住みやすさや定住意向について

(1) まちへの愛着度

問2 あなたは、海田町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。
(1つに○印)

「感じている」が48.4%，次いで「どちらかといえば感じている」が32.8%
あわせて81.2%

「感じている」と答えた人が48.4%と最も多く、「どちらかといえば感じている」と答えた人が32.8%となっており、これらをあわせた“愛着を感じている”という人は81.2%となっています。これに対して，“愛着を感じていない”（「どちらかといえば感じていない」(3.2%) 及び「愛着を感じていない」(2.0%) の合計）は5.2%にとどまり、まちへの愛着度は高いといえます。なお、「どちらともいえない」は12.7%でした。



[回答者の属性別]

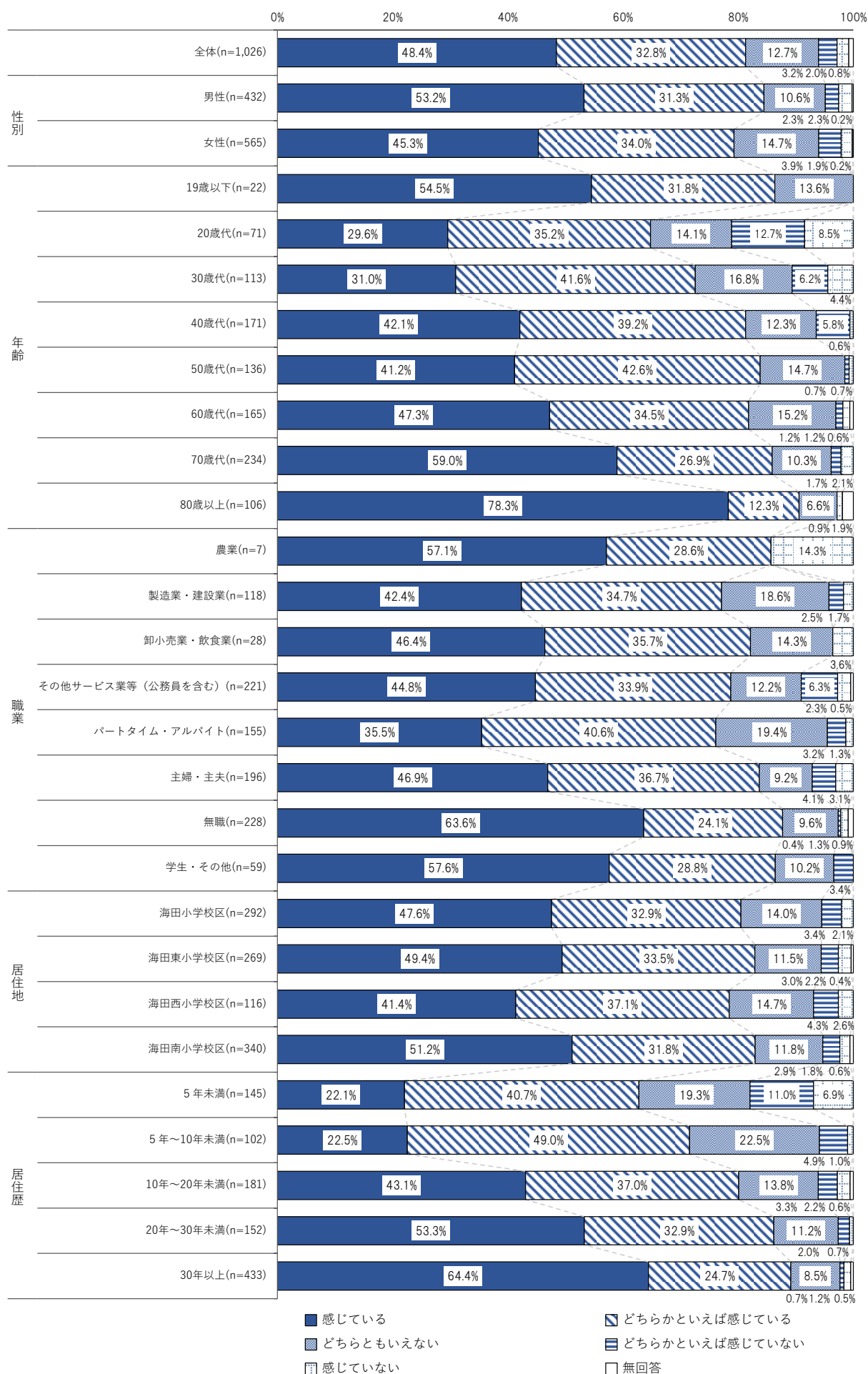
性別でみると，“愛着を感じている”では男性（84.5%）は女性（79.3%）よりやや高くなっています。

年齢でみると、「愛着を感じている」では「20 歳代」（29.6%）と「30 歳代」（31.0%）が低く、「80 歳以上」（78.3%），「70 歳代」（59.0%），「19 歳未満」（54.5%）が高くなっています。「20 歳代」の“愛着を感じている”が64.8%と低くなっています。

職業でみると、「感じている」では「パートタイム・アルバイト」（35.5%）が低くなっています。

居住地でみると、「感じている」では「海田南小学校区」（46.9%）が最も高く、「海田西小学校区」（41.4%）が最も低くなっています。

居住歴でみると、「感じている」では「5 年未満」（22.1%）と「5 年～10 年未満」（22.5%）が低くなっており、「5 年未満」は“感じていない”（17.9%）が高くなっています。



(2) まちの特色

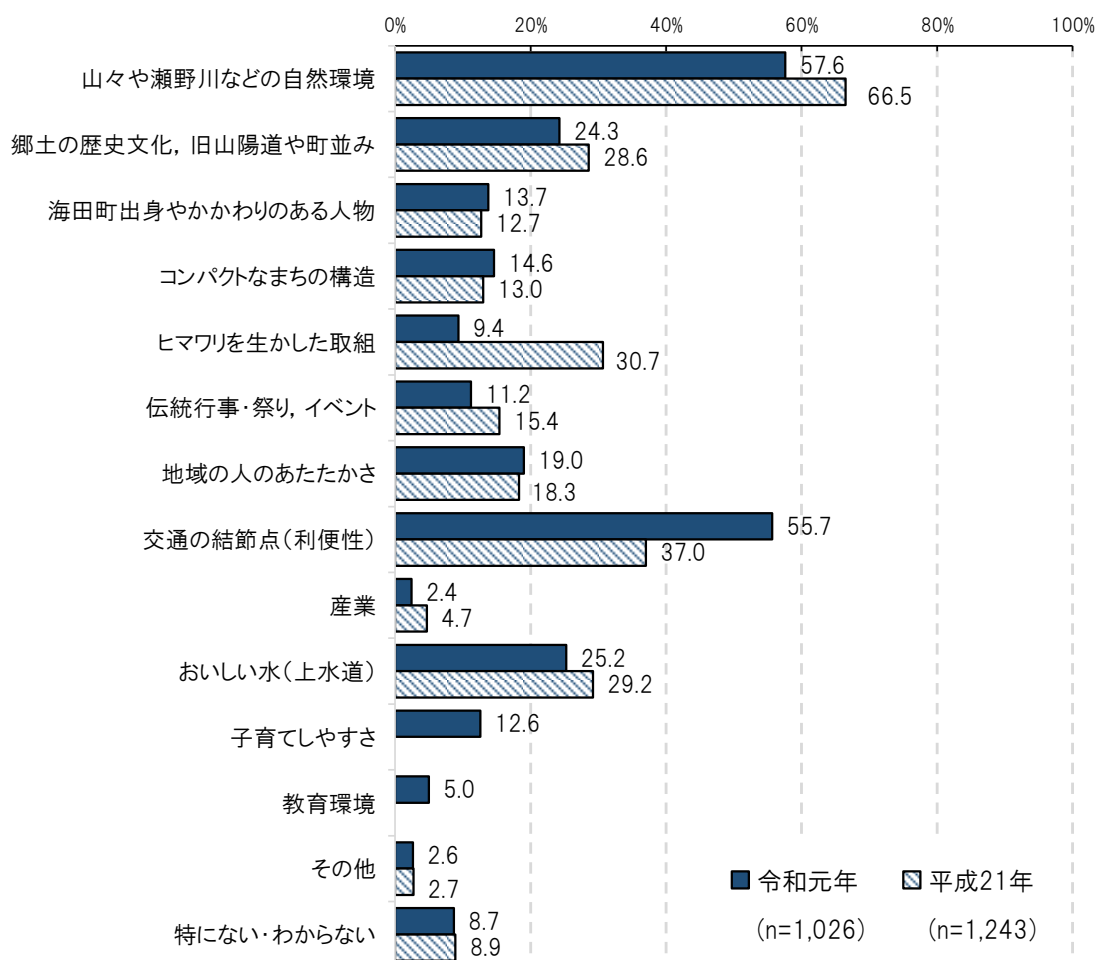
問3 あなたは、海田町の特徴・自慢できるものは、何だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○印)

「山々や瀬野川などの自然環境」が 57.6%，次いで「交通の結節点（利便性）」
(55.7) %

「山々や瀬野川などの自然環境」と答えた人が 57.6%と最も多く，次いで「交通の結節点（利便性）」(55.7%)，「おいしい水（上水道）」(25.2%)，「郷土の歴史文化，旧山陽道や町並み」(24.3%) などの順となっています。

[前回調査との比較]

最も回答の多い「山々や瀬野川などの自然環境」は前回調査に比べて 8.9 ポイントの減少となっていますが，次いで回答の多い「交通の結節点（利便性）」は前回調査に比べて 18.7 ポイントの増加となっています。「ヒマワリを生かした取組」では前回調査に比べて 21.3 ポイントと大きく減少しています。

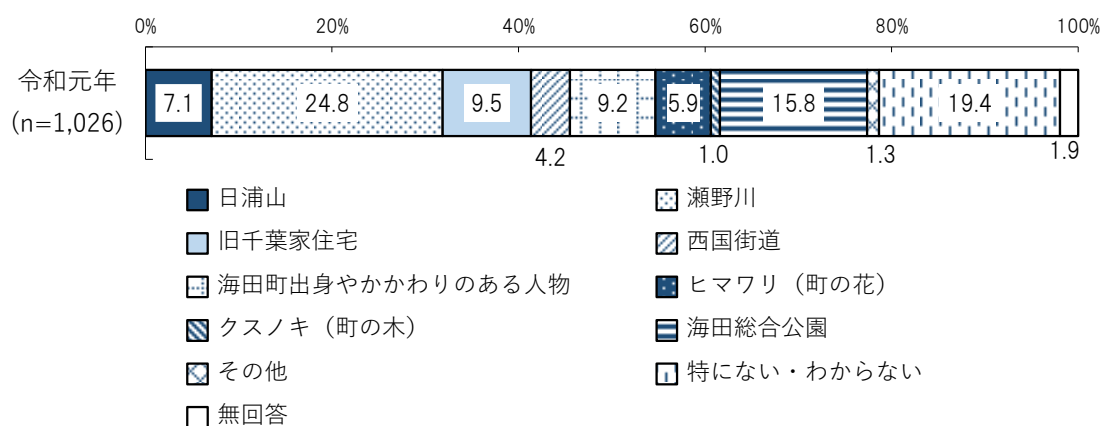


(3) まちの自慢できるもの

問4 海田町の自慢できるもの（人）を1つあげるとしたら、それは何ですか。
（1つに○印）

「瀬野川」が24.8%，次いで「海田総合公園」が19.4%

海田町の自慢できるもの（人）については、「瀬野川」（24.8%）が最も多く、次いで「海田総合公園」（15.8%），「旧千葉家住宅」（9.5%），「海田町出身やかかわりのある人物」（9.2%）などの順となっています。また、「特にない・わからない」が19.4%となっています。



[回答者の属性別]

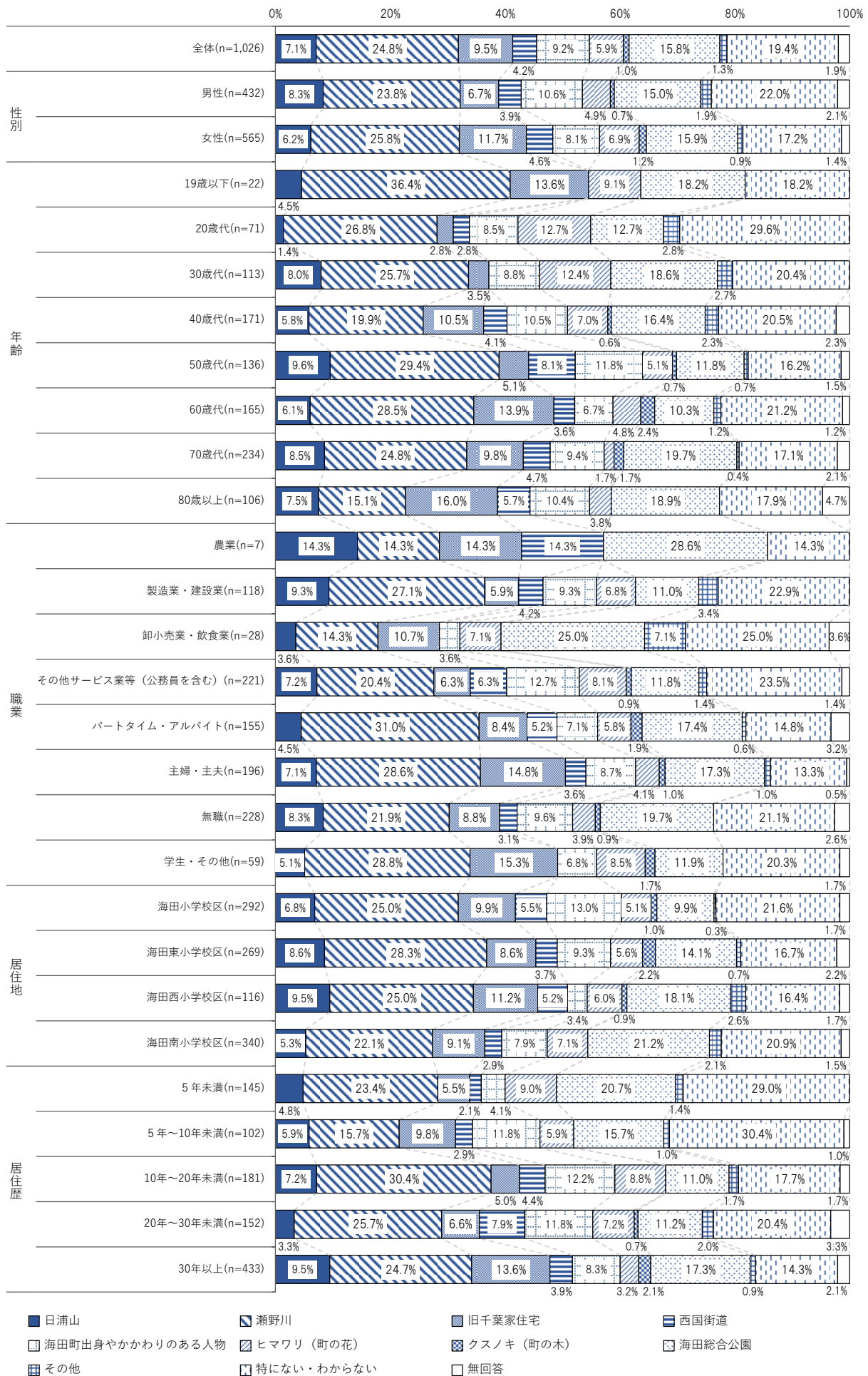
性別でみると、「瀬野川」が男性（23.8%），女性（25.8%）でともに最も高くなっています。

年齢でみると、「80歳以上」では「海田総合公園」（18.6%）が最も高くなっています。「特にない・わからない」は「20歳代」（29.6%），「40歳代」（20.5%）が最も高くなっています。

職業でみると、「特にない・わからない」が「卸小売業・飲食業」（25.0%），「その他サービス業等（公務員を含む）」（23.5%）と最も高くなっています。また「卸小売業・飲食業」では「海田総合公園」が25.0%と同率で最も高くなっています。

居住地では大きな違いはみられませんでした。

居住歴でみると、「特にない・わからない」が「5年未満」（29.0%），「5年～10年未満」（30.4%）が高くなっており，居住歴が概ね10年を超えると「特にない・わからない」への回答は低くなっています。



(4) 地区の住みよさ

問5 あなたは、現在のお住いの地区の住みよさについて、どうお感じですか。
(1つに○印)

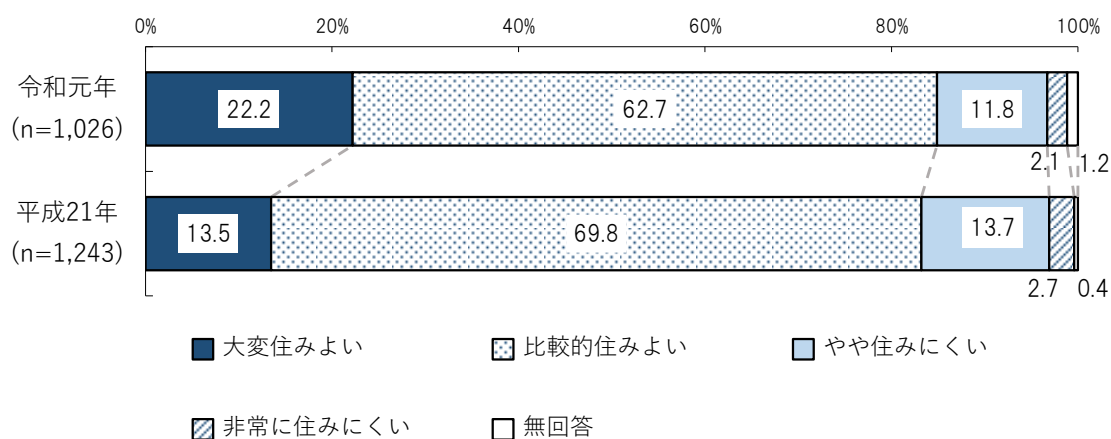


「比較的住みよい」が 62.7%，次いで「大変住みよい」が 22.2%

「比較的住みよい」と答えた人が 62.7%と最も多く、「大変住みよい」と答えた人が 22.2%となっており、これらをあわせた“住みよい”という人は 84.9%となっています。これに対して、“住みにくい”（「やや住みにくい」(11.8%) 及び「非常に住みにくい」(2.1%) の合計）は 13.9%となっています。

[前回調査との比較]

「大変住みよい」は前回調査に比べて 8.7 ポイントの増加となっていますが、他の回答については前回調査に比べて減少の傾向が見られます。“住みよい”でみると前回調査に比べて 1.6 ポイントの増加にとどまっています。



[回答者の属性別]

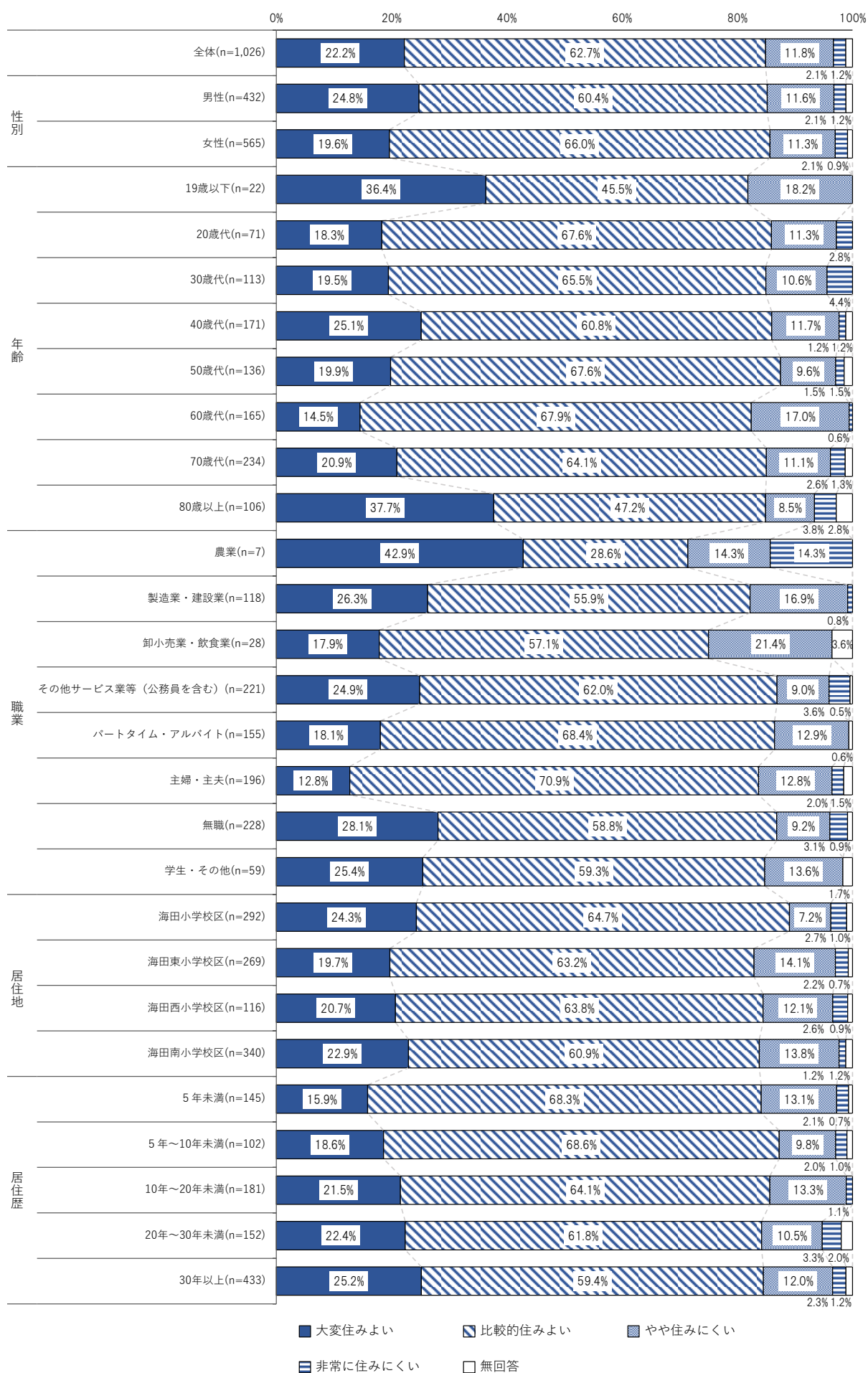
性別でみると、男性の方が「大変住みよい」がやや高く、女性の方が「比較的住みよい」がやや高くなっています。

年齢でみると、「大変住みよい」では「80 歳以上」(37.7%)、「19 歳以下」(33.3%)が多く、「60 歳代」(14.5%)が少なくなっています。

職業でみると、“住みよい”では「卸小売業・飲食業」が 75.0%でやや低くなっています。

居住地では大きな違いはみられませんでした。

居住歴でみると、居住歴が長くなるにつれ「大変住みよい」が高くなる傾向があります。



(5) 地区の居住環境

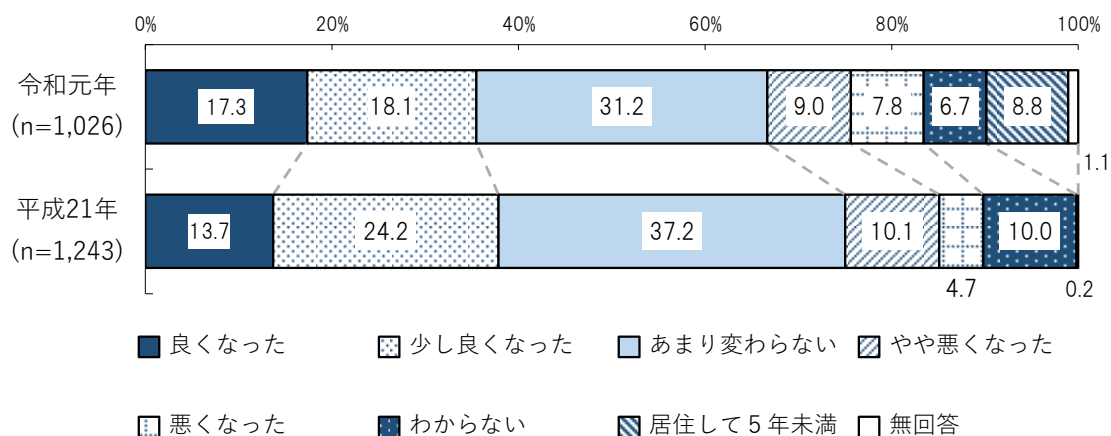
問6 あなたは、およそ5～10年前と比べ、お住いの地区の居住環境は良くなったと思いますか。(1つに○印)

「あまり変わらない」が31.2%，次いで「少し良くなった」が18.1%

「少し良くなった」と答えた人が18.1%，「大変住みよい」と答えた人が17.3%となっており、これらをあわせた“良くなった”という人は35.4%となっています。これに対して，“悪くなった”（「やや悪くなった」(9.0%) 及び「悪くなった」(7.8%) の合計）は16.8%となっています。また、「あまり変わらない」は31.2%となっています。

[前回調査との比較]

前回調査と比較して、「居住して5年未満」の回答が追加されており、その回答分、全体的に減少が見られます。



[回答者の属性別]

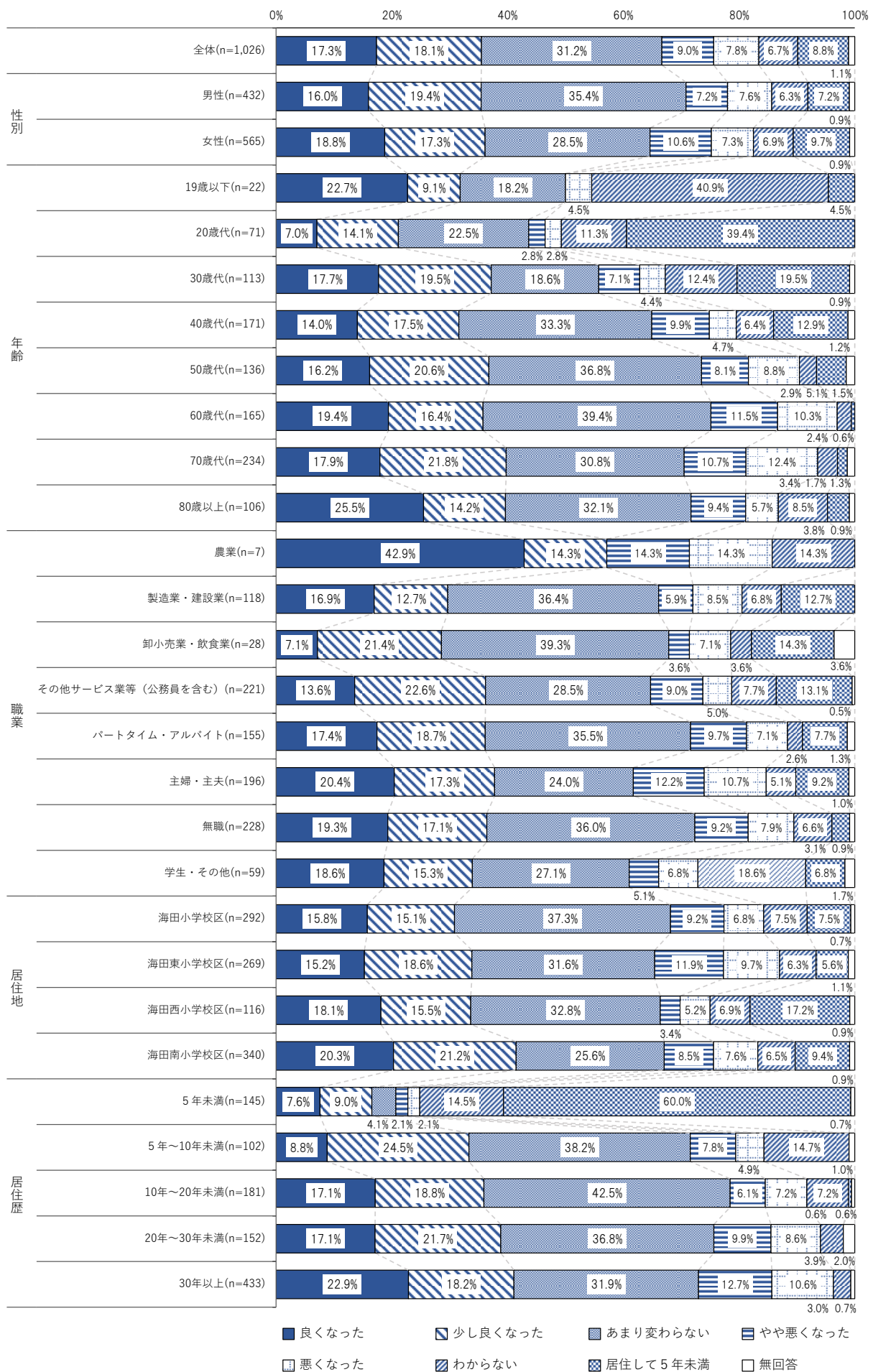
性別でみると、女性の方が男性に比べて「あまり変わらない」がやや低く，“悪くなった”がやや高くなっています。

年齢でみると、「30歳代」では「少し良くなった」が19.5%で最も高くなっています。「20歳代」では「良くなった」が21.1%となっており、他の年齢に比べて低くなっています。

職業でみると，“良くなった”では「製造業・建設業」(29.7%)，「卸小売業・飲食業」(28.6%)とやや低くなっています。

居住地でみると、「海田南小学校区」で「良くなった」が他より高くなっています。

居住歴でみると、居住歴が長くなるにつれ“良くなった”が高くなる傾向があります。



(6) 定住の意向

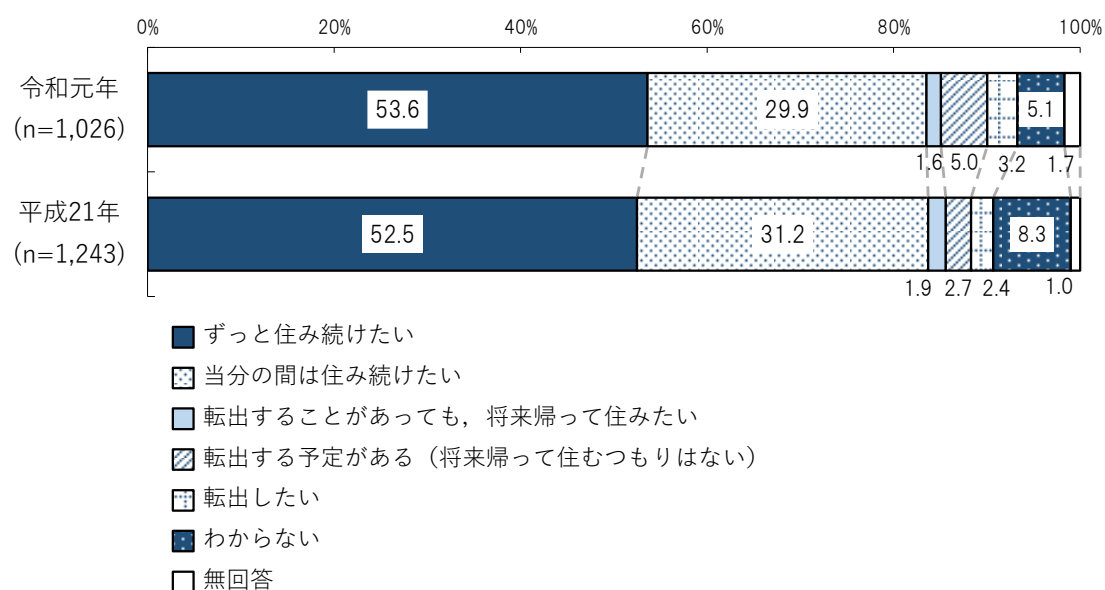
問7① あなたは、今後も海田町に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)

「ずっと住み続けたい」が53.6%，次いで「当分の間は住み続けたい」が29.9%

「ずっと住み続けたい」と答えた人が53.6%と最も多く，次いで「当分の間じゃ住み続けたい」(29.9%)となっており，これらをあわせた“住み続けたい”という人は83.5%となっています。また，「転出する予定がある(将来帰って住むつもりはない)」が5.0%，「転出したい」が3.2%となっています。

[前回調査との比較]

“住み続けたい”については前回調査とほぼ変化がありませんが，「転出する予定がある(将来帰って住むつもりはない)」，「転出したい」への回答は前回調査と比較してやや増加しています。



[回答者の属性別]

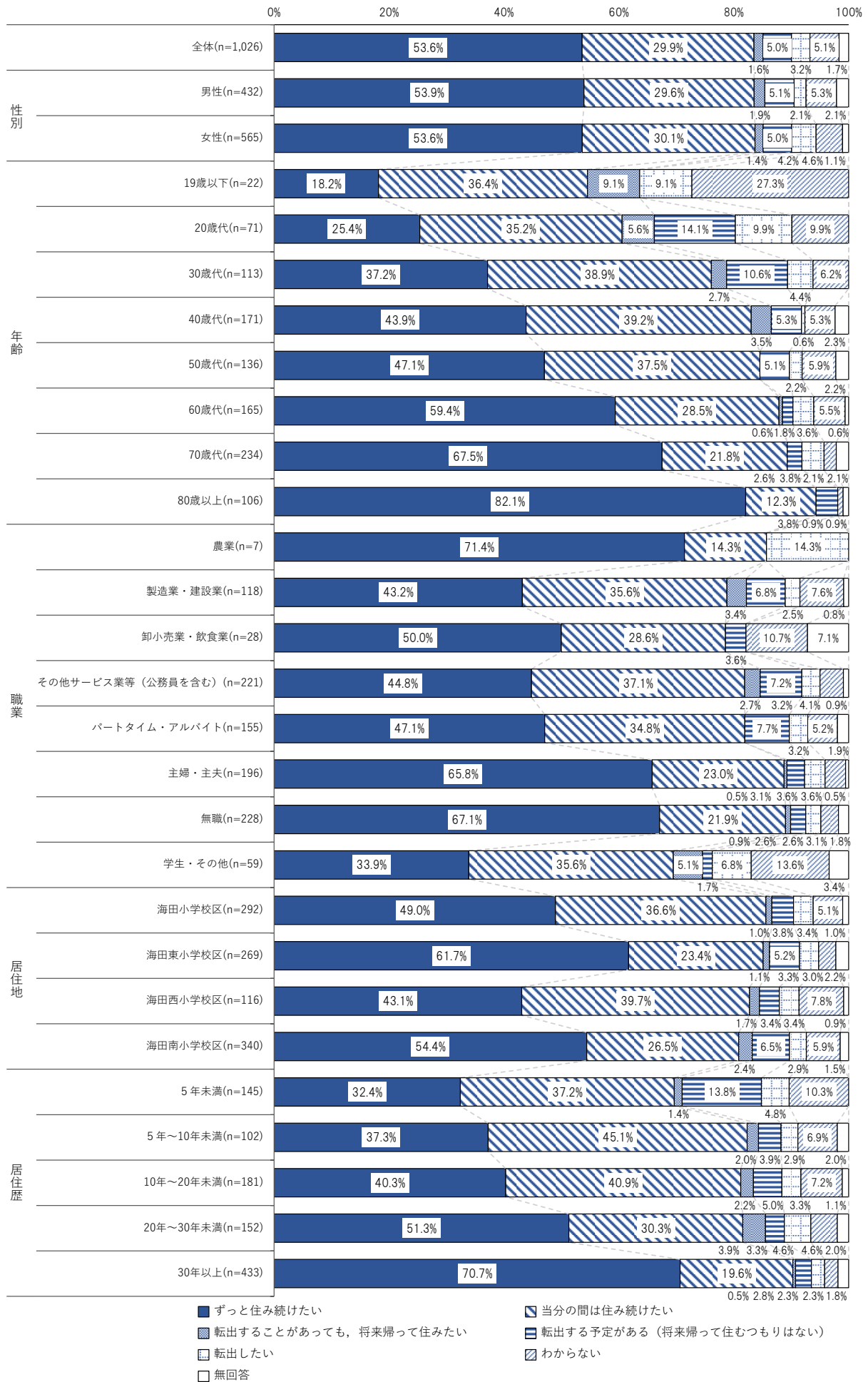
性別でみると、大きな違いはありませんでした。

年齢でみると、「住み続けたい」は加齢とともに高くなっていきますが、「20 歳代」、「30 歳代」では「転出する予定がある（将来帰って住むつもりはない）」、「転出した」への回答が高くなっています。

職業でみると、「学生・その他」では「当分の間は住み続けたい」が 35.6%で最も高くなっており、他の職業と比べて「ずっと住み続けたい」が低くなっています。

居住地でみると、「住み続けたい」では「海田小学校区」（85.6%）が最も高く、「海田南小学校区」（80.9%）が最も低くなっています

居住歴でみると、居住歴が長くなるにつれ「住み続けたい」が高くなる傾向があります。また、「5 年未満」では、「転出する予定がある（将来帰って住むつもりはない）」が 13.8%とやや高くなっています。

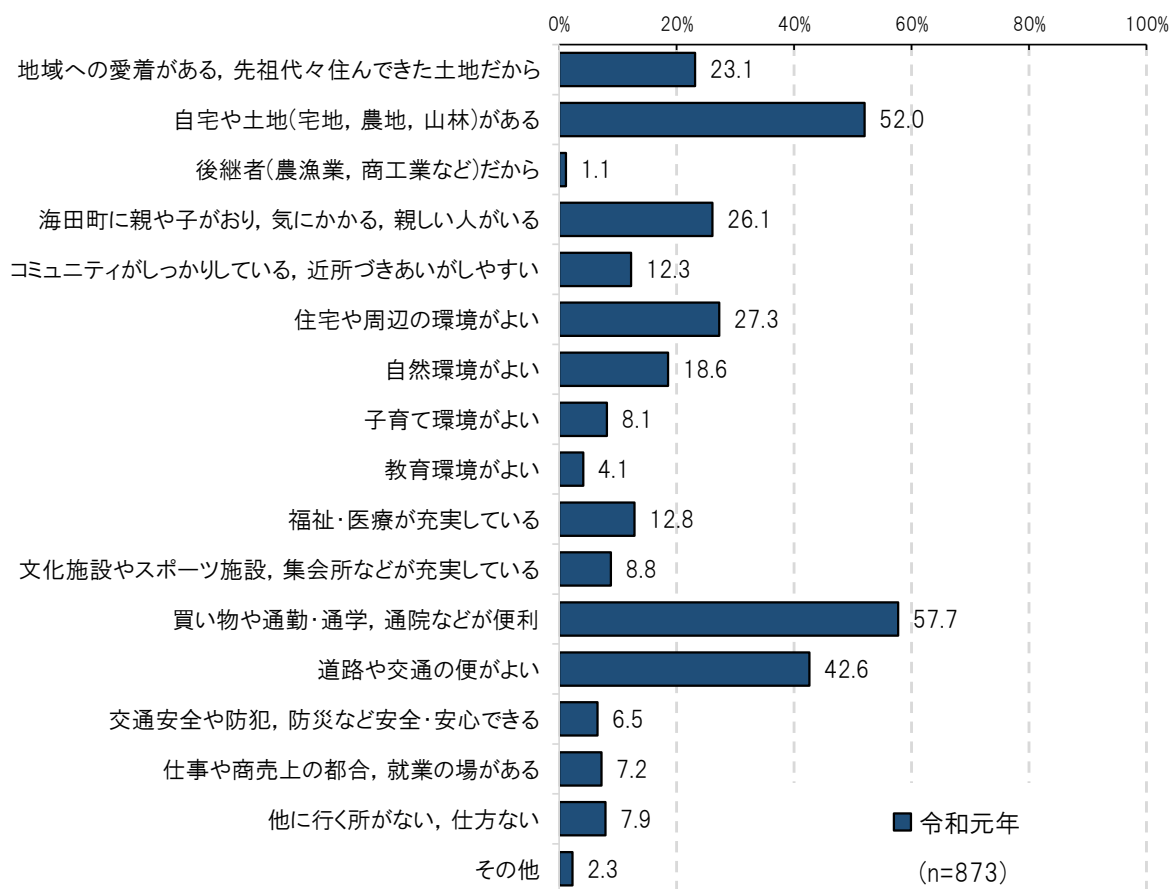


問7② 住み続けたい、将来帰って住みたい主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)



「買い物や通勤・通学、通院などが便利」が57.7%，次いで「自宅や土地(宅地，農地，山林)がある」が52.0%

「買い物や通勤・通学、通院などが便利」と答えた人が57.7%と最も多く、次いで「自宅や土地(宅地，農地，山林)がある」(52.0%)、「道路や交通の便がよい」(42.6%)、「住宅や周辺の環境がよい」(27.3%)、「海田町に親や子がおり，気にかかる，親しい人がいる」(26.1%)などの順となっています。

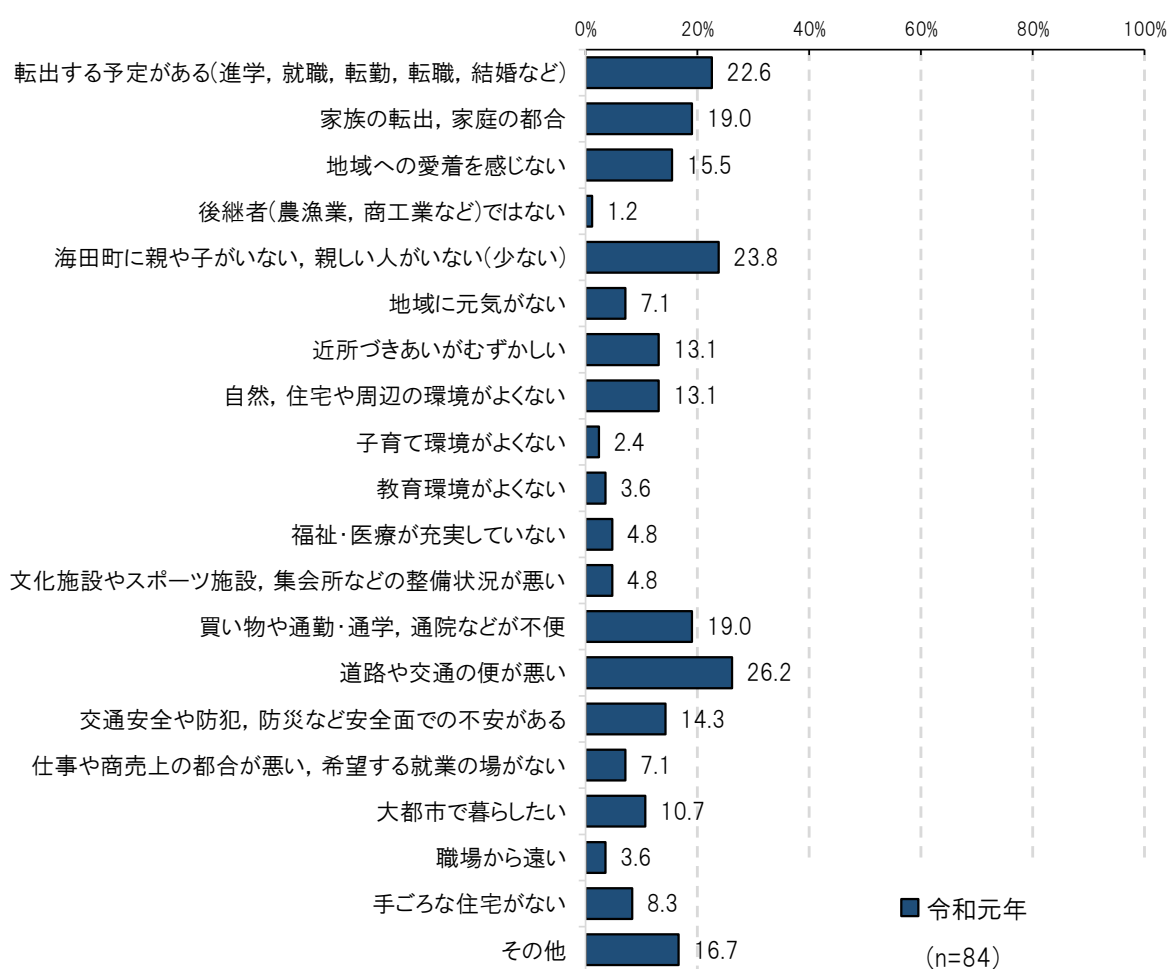


問7③ 転出したい（転出する）主な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○印）



「道路や交通の便が悪い」が26.2%，次いで「海田町に親や子がない，親しい人がいない(少ない)」が23.8%

「道路や交通の便が悪い」と答えた人が26.2%と最も多く，次いで「海田町に親や子がない，親しい人がいない(少ない)」(23.8%)，「転出する予定がある(進学，就職，転勤，転職，結婚など)」(22.6%)，「家族の転出，家庭の都合」，「買い物や通勤・通学，通院などが不便」(同率19.0%)などの順となっています。



3 まちの現状と今後の取組について

(1) 満足度

問8 海田町について、現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

- ① あなたは、以下の項目について、現在どの程度満足していますか。
それぞれについてあてはまる番号1つに○印をつけてください。



満足度が最も高い項目は「鉄道（JR 山陽本線・呉線）の便利さ」、次いで「上水道の整備状況（安全でおいしい水）」、「諸証明書取得の便利さ」の順
満足度が最も低い項目は「連続立体交差事業（鉄道）の進み具合」、次いで「歩道や遊歩道などの整備状況」、「地震・水害などに対する安全」の順

海田町の各環境について、現在どの程度満足しているかを把握するため、子育て・教育・生涯学習、安全・安心、保健・医療・福祉、地域社会・活動、生活環境、産業・雇用、道路・交通、行財政の8分野65項目を設定し、項目ごとに「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」の4段階で評価してもらい、その結果を加重平均値〔後述参照〕による数量化で評価点（満足度：最高点10点、最低点-10点）を算出しました。

この結果、満足度評価が最も高い項目は、「鉄道（JR 山陽本線・呉線）の便利さ」（4.75点）となっており、次いで第2位が「上水道の整備状況（安全でおいしい水）」（4.36点）、第3位が「諸証明書取得の便利さ」（3.37点）と続き、以下、「下水道の整備状況」（3.19点）、「役場などの窓口の対応」（3.17点）などの順となっています。

一方、満足度評価の低い項目をみると、「連続立体交差事業（鉄道）の進み具合」（-2.75点）が最も低く、次いで、「歩道や遊歩道などの整備状況」（-1.73点）、「地震・水害などに対する安全」（-1.57点）、「商店街の振興」（-1.03点）、「路線バスの便利さ」（-0.99点）続いています。全体的にみると、満足度がプラス評価の項目が43項目、マイナス評価の項目が21項目となっています。

〔前回調査との比較〕

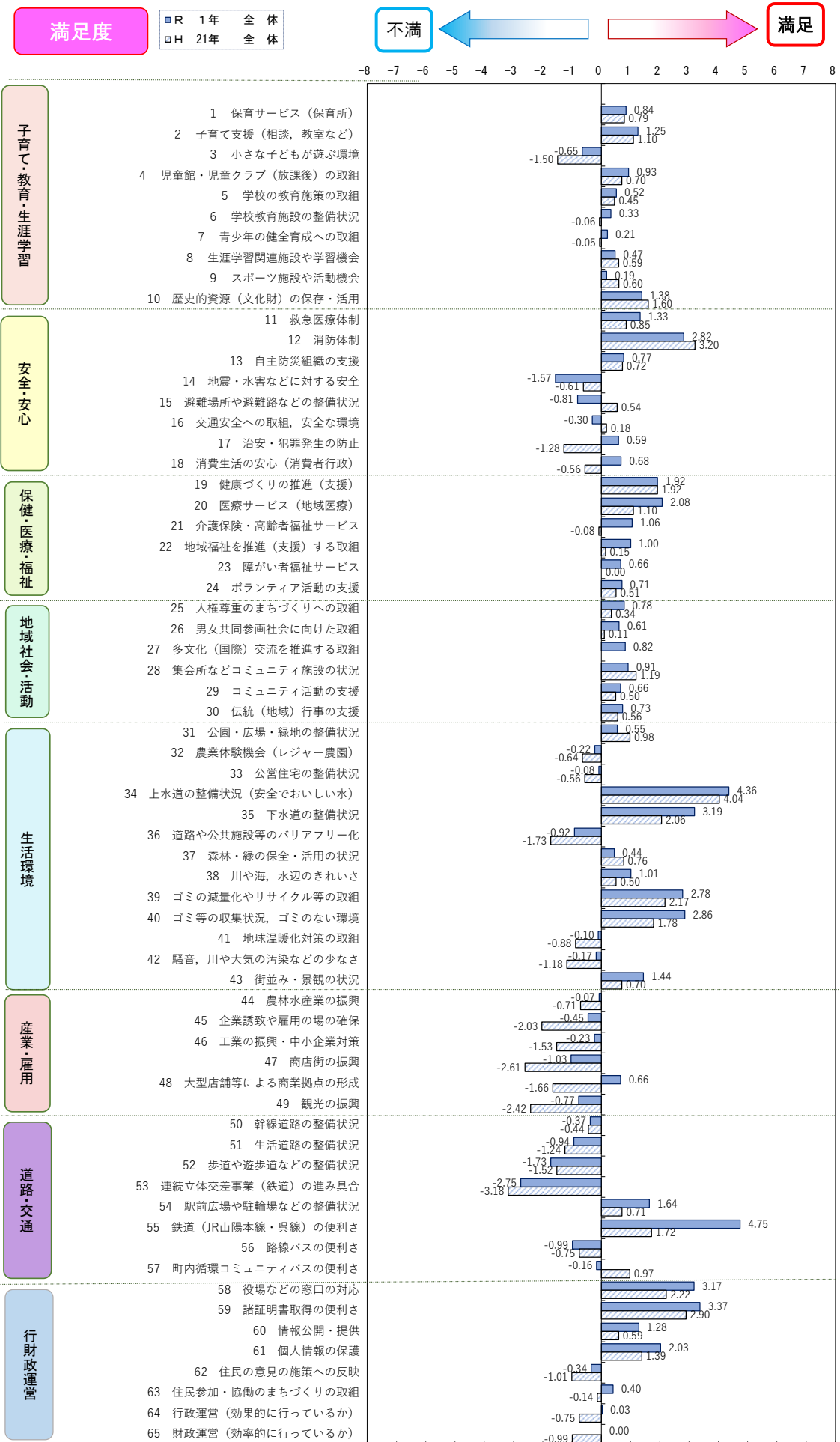
平成27年調査と今回の調査を比較すると、第1位の「鉄道（JR 山陽本線・呉線）の便利さ」が前回第9位から大きく上昇しています。前回よりも満足度が上がっている主なものは、「下水道の整備状況」、「ゴミ等の収集状況、ゴミのない環境」などとなっており、不満度が改善されている主なものは、「治安・犯罪発生の防止」、「消費生活の安心（消費者行政）」、「大型店舗等による商業拠点の形成」となっています。不満度が上がっているものは「避難場所や避難路などの整備状況」などとなっています。

※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

$$\text{評価点} = \left(\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足している」の回答者数} \\ \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満である」の回答者数} \\ \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「わからない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \end{array} \right) \div \left(\begin{array}{l} \text{「満足している」, 「どちらかとい} \\ \text{えば満足している」, 「どちら} \\ \text{かといえば不満である」, 「不満} \\ \text{である」, 「わからない」, の回答} \\ \text{者数} \end{array} \right)$$

この算出方法により、評価点(満足度)は 10 点～－10 点の間に分布し、中間点の0点を境に、10 点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に－10 点に近くなるほど評価が低いと考えられる。



(2) 重要度

問8 海田町について、現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

- ② あなたは、以下の項目について、今後どの程度重視していますか。
それぞれについてあてはまる番号1つに○印をつけてください。



重要度が最も高い項目は「鉄道（JR 山陽本線・呉線）の便利さ」、次いで「地震・水害などに対する安全」，「上水道の整備状況（安全でおいしい水）」の順
重要度が最も低い項目は「農業体験機会（レジャー農園）」，次いで「公営住宅の整備状況」，「避難場所や避難路などの整備状況」の順

海田町の各環境について、今後どの程度重視しているかを把握するため、満足度と同様に、子育て・教育・生涯学習，安全・安心，保健・医療・福祉，地域社会・活動，生活環境，産業・雇用，道路・交通，行財政の8分野65項目を設定し、項目ごとに「重視している」，「どちらかといえば重視している」，「どちらかといえば重視していない」，「重視していない」の4段階で評価してもらい、その結果を加重平均値〔後述参照〕による数量化で評価点（重要度：最高点10点，最低点－10点）を算出しました。

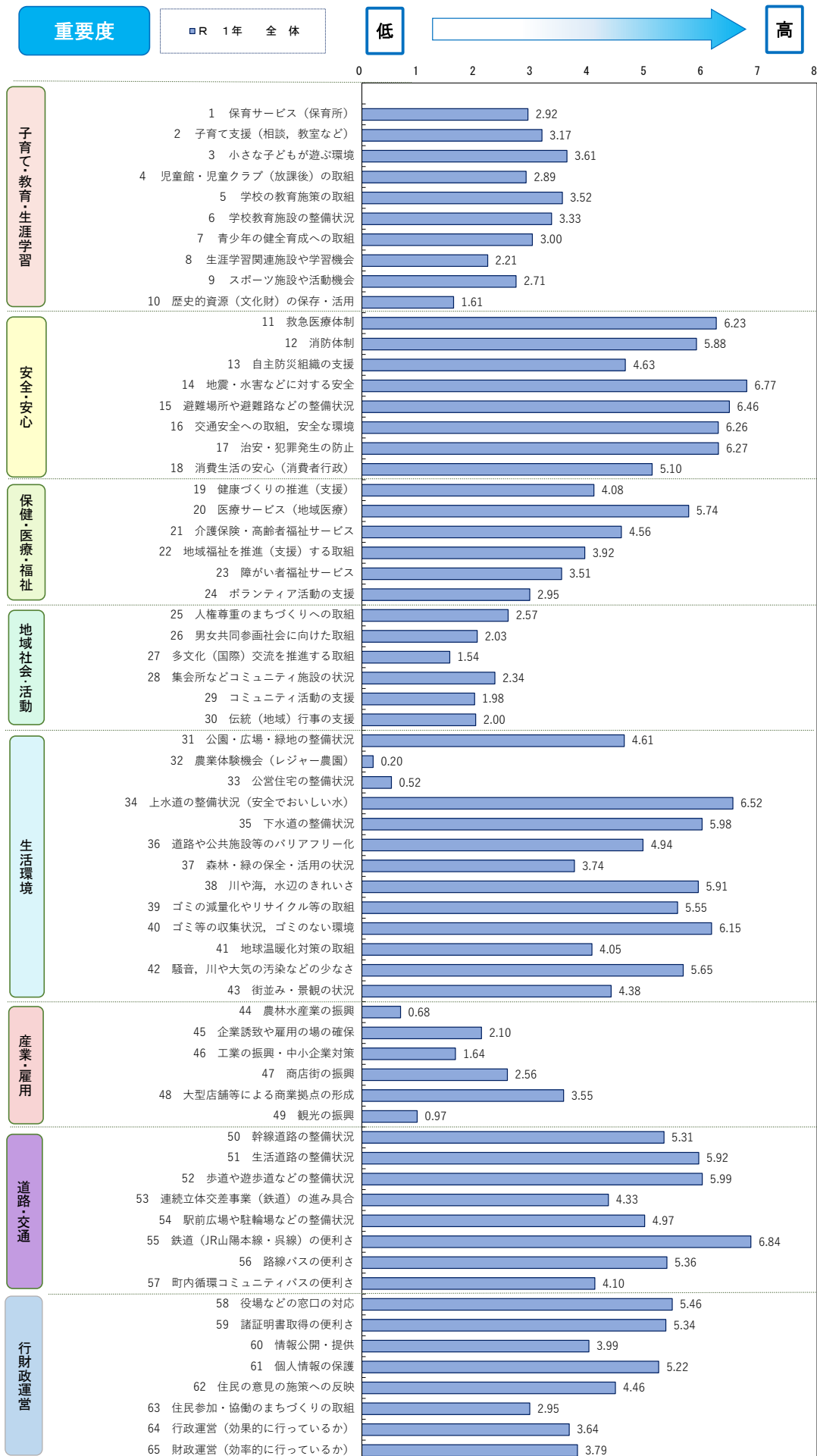
この結果、重要度評価が最も高い項目は、「鉄道（JR 山陽本線・呉線）の便利さ」（6.84点）が第1位，次いで、「地震・水害などに対する安全」（6.77点），「上水道の整備状況（安全でおいしい水）」（6.52点）と続き，以下，「避難場所や避難路などの整備状況」（6.46点），「治安・犯罪発生の防止」（6.27点）などの順となっています。

一方、重要度の低い項目をみると、「農業体験機会（レジャー農園）」（0.20点）が最も低く，次いで，「公営住宅の整備状況」（0.52点），「農林水産業の振興」（0.68点），「観光の振興」（0.97点），「多文化（国際）交流を推進する取組」（1.54点）と続いています。

※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \left(\begin{array}{l} \text{「重視している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば重視している」の回答者数} \\ \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば重視していない」の} \\ \text{回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重視していない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \end{array} \right)}{\begin{array}{l} \left(\begin{array}{l} \text{「重視している」，「どちらかとい} \\ \text{えば重視している」，「どちら} \\ \text{かといえば重視していない」，} \\ \text{「重視していない」，「どちらと} \\ \text{もいえない」の回答者数} \end{array} \right)}\end{array}}$$



（３）優先度（満足度と重要度の相関）

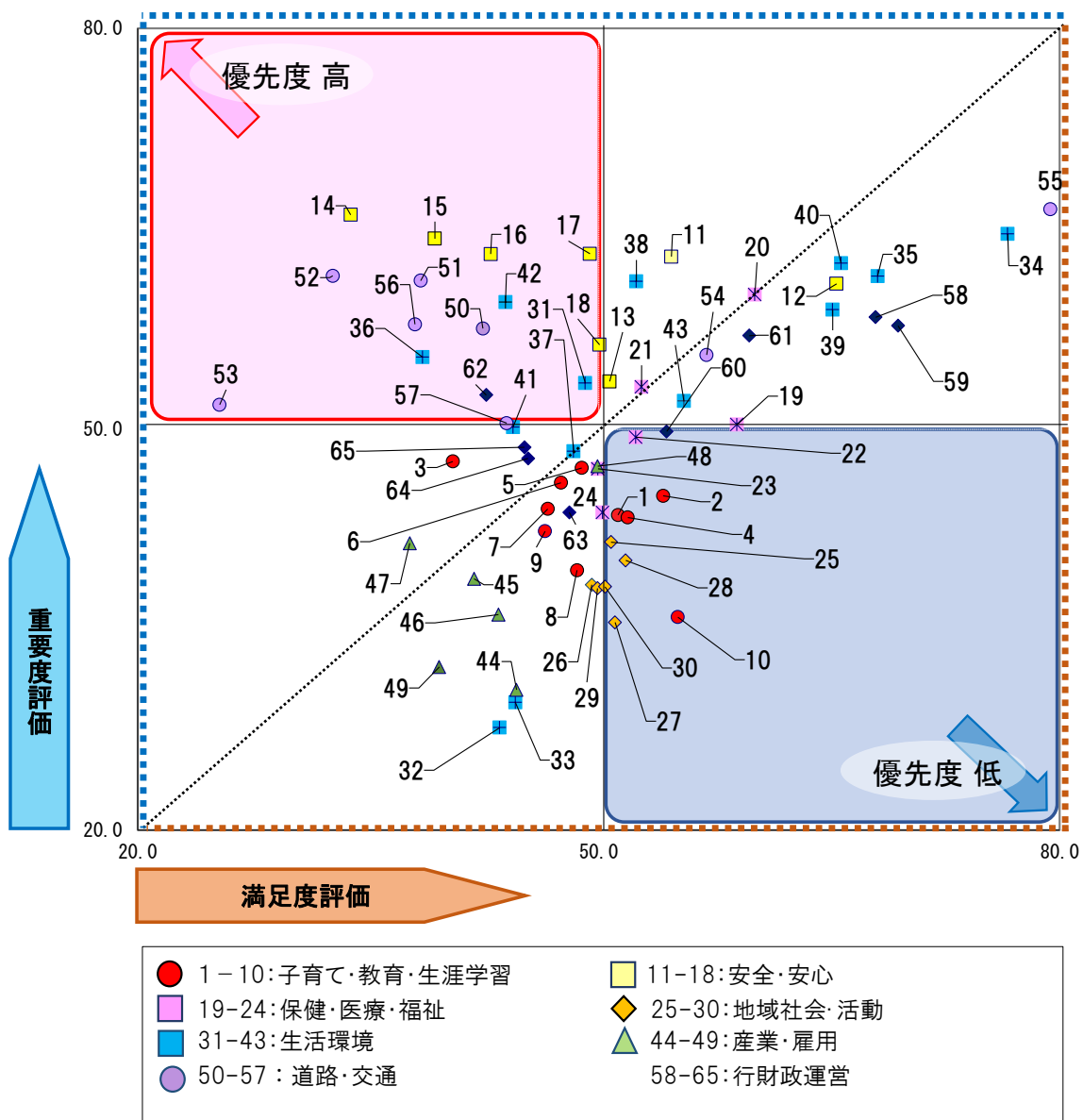
- 優先度が最も高い項目は「地震・水害などに対する安全」、次いで「歩道や遊歩道などの整備状況」、「生活道路の整備状況」の順

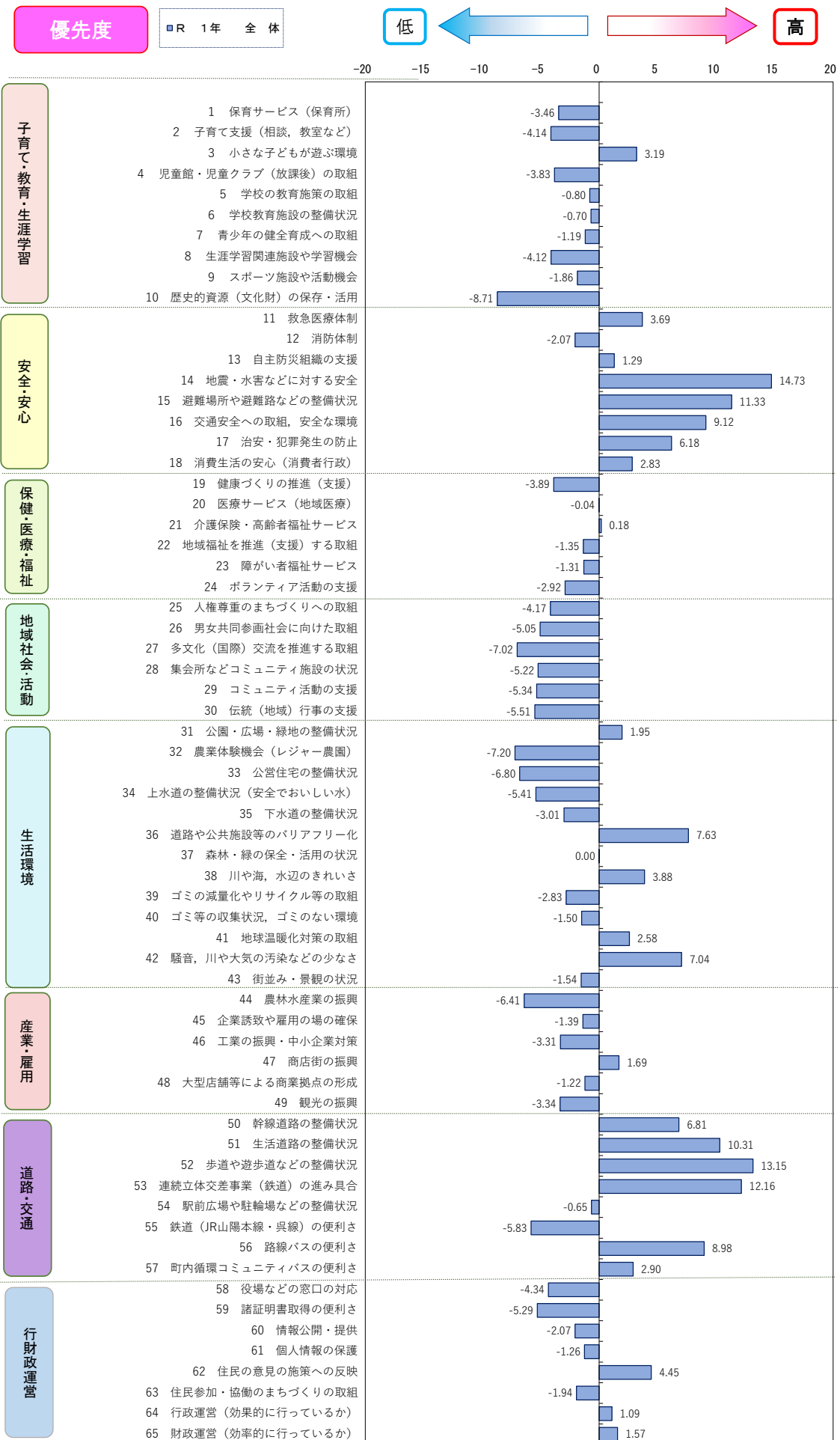
これまでみてきた満足度と重要度の分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施策項目を抽出するための一つの試みとして、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなります。

この結果をみると、優先度は、「地震・水害などに対する安全」（14.73 点）が第 1 位となっており、次いで「歩道や遊歩道などの整備状況」（13.15 点）、「連続立体交差事業（鉄道）の進み具合」（12.16 点）、「避難場所や避難路などの整備状況」（11.33 点）、「生活道路の整備状況」（10.31 点）などの順となっています。分野別では、「安全・安心」、「道路・交通」といった分野の施策に対する優先度が高くなっています。

※優先度の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。
- ② ①で算出した偏差値から平均（中心）からの距離を算出する。
- ③ 平均（中心）から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均（中心）から各項目への線の角度を求める。
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する（指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる。）。
- ⑤ ②で算出された平均（中心）からの距離と④で算出された修正指数から優先度を算出する。





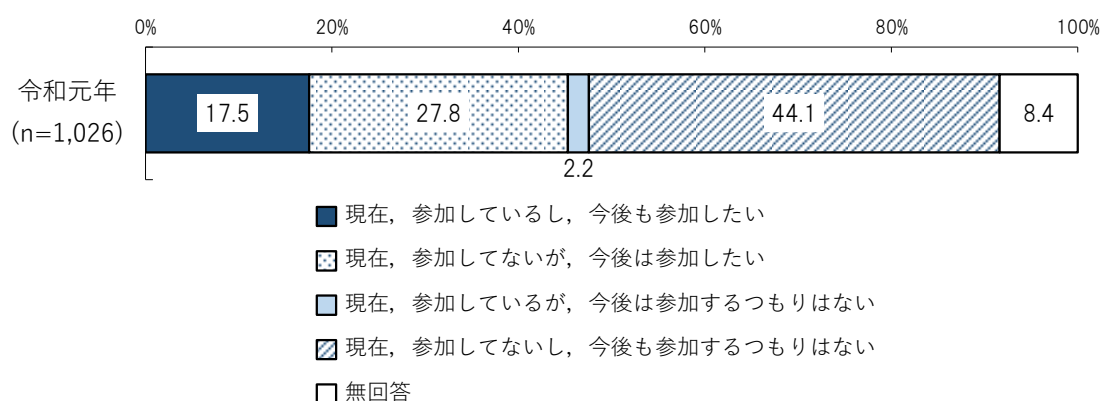
4 住民活動等について

(1) 地域活動・ボランティア活動

問9① あなたの地域活動・ボランティア活動への、現在の参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。(1つに○印)

「現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない」が44.1%、次いで「現在、参加していないが、今後は参加したい」が27.8%

「現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない」と答えた人が44.1%と最も多く、次いで「現在、参加していないが、今後は参加したい」(27.8%)などの順となっています。“参加したい”(「現在、参加しているし、今後は参加したい」(17.5%)及び「現在、参加していないが、今後は参加したい」(27.8%)の合計)45.3%となっています。



[回答者の属性別]

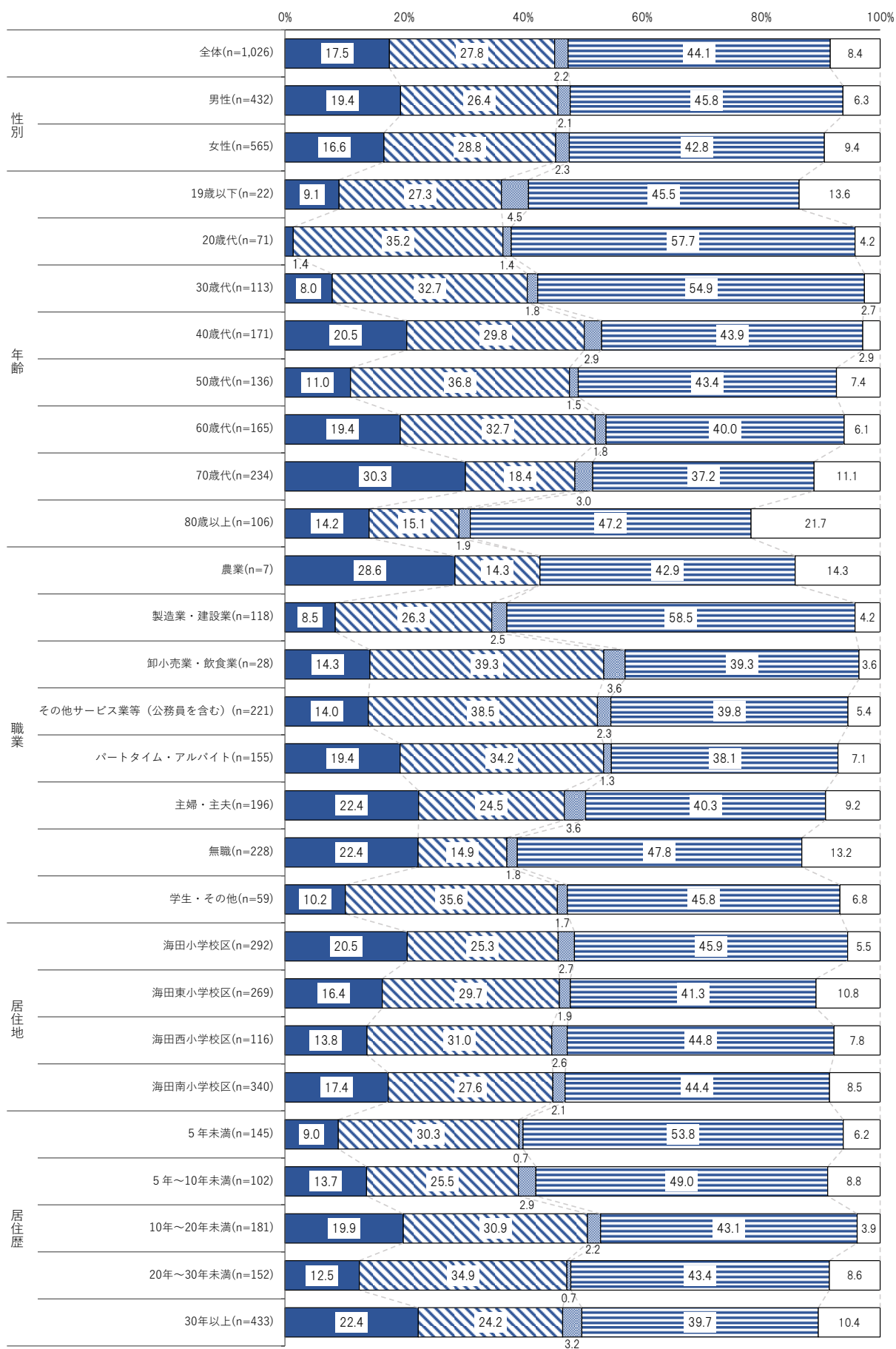
性別でみると、大きな違いはありませんでした。

年齢でみると、“参加したい”は加齢とともに高くなっていく傾向がありますが、「80歳以上」では29.3%と最も低くなっています。

職業でみると、「製造業・建築業」では“参加したい”が34.8%と最も低く、また、「現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない」が58.5%と最も高くなっています。

居住地でみると、大きな違いはありませんでした。

居住歴でみると、「10年～20年未満」では“参加したい”が50.8%と最も高くなっています。また居住歴が概ね10年を超えると“参加したい”への回答が高くなる傾向があります。



■ 現在、参加しているし、今後も参加したい
 ■ 現在、参加していないが、今後は参加したい
 ■ 現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない
 ■ 現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない
 □ 無回答

問9② あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

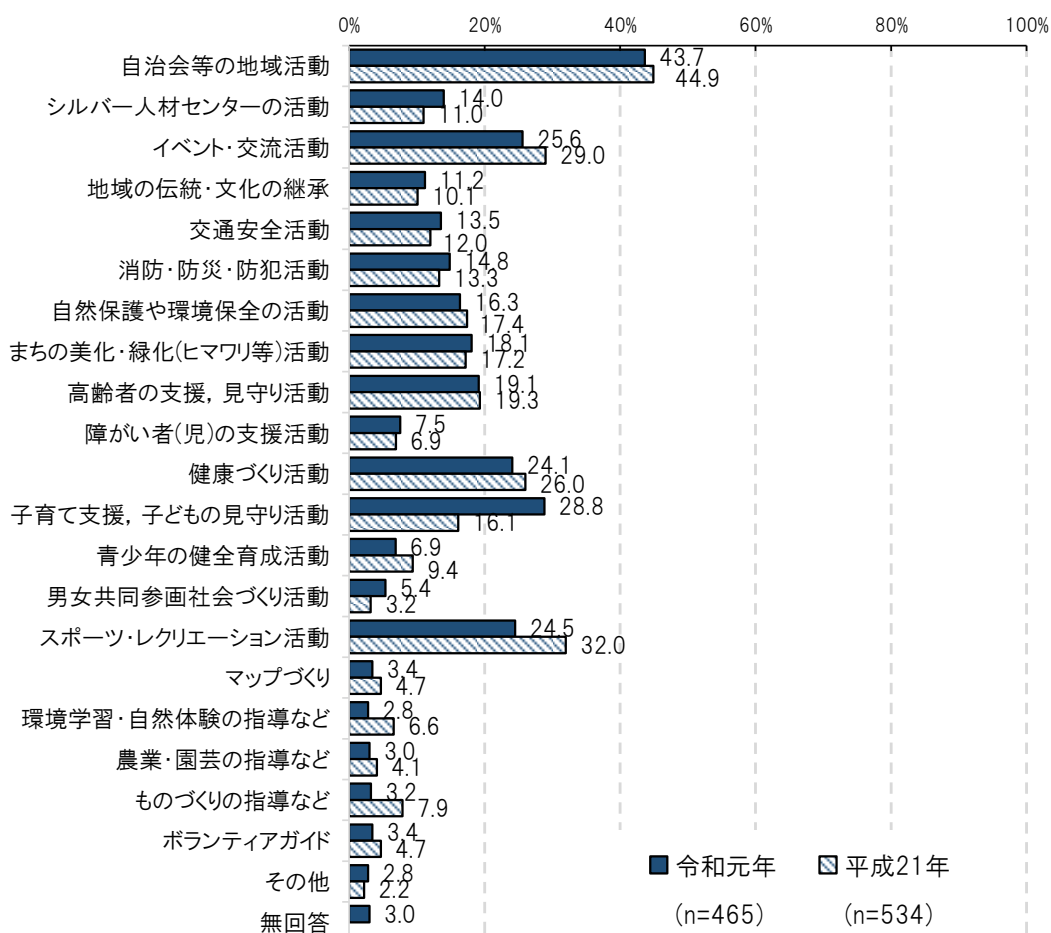


「自治会等の地域活動」が43.7%，次いで「子育て支援，子どもの見守り活動」が28.8%

「自治会等の地域活動」と答えた人が43.7%と最も多く，次いで「子育て支援，子どもの見守り活動」（28.8%），「イベント・交流活動」（25.6%），「スポーツ・レクリエーション活動」（24.5%）などの順となっています。

〔前回調査との比較〕

最も回答の多い「自治会等の地域活動」は前回調査と同様に最も高いですが1.2ポイントの減少となっています。次いで回答の多い「子育て支援，子どもの見守り活動」は前回調査に比べて12.7ポイントの増加となっており，回答数は前回調査の第8位から第2位へと大幅に上がっています。一方，前回調査で第2位だった「スポーツ・レクリエーション活動」では前回調査に比べて7.5ポイントの減少となっています。



問9③ 海田町では、地域の支え合い・助け合いや、地域・住民等と行政が協力・連携して進める協働のまちづくりを、より推進していきたいと考えています。こうした支え合い・助け合いや協働のまちづくりを進めることに対して、あなたは、どのようにお考えですか。（1つに○印）

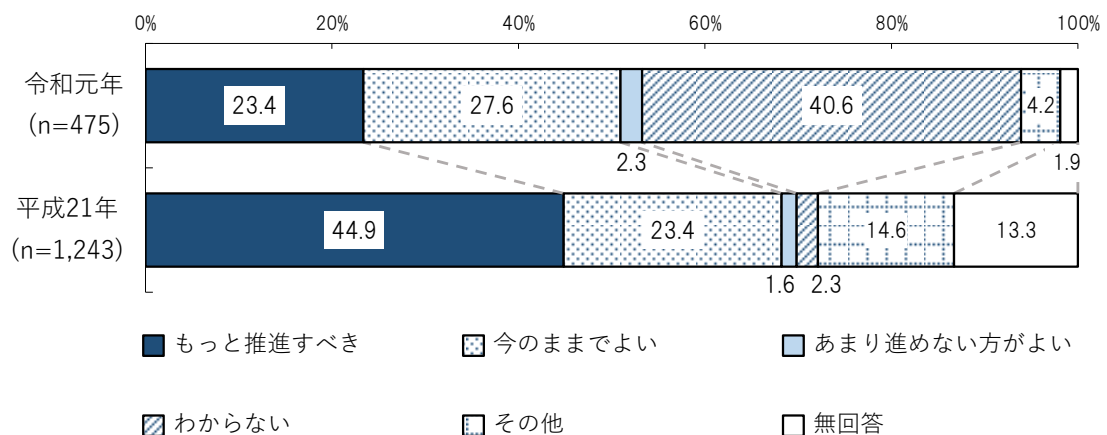


「わからない」が40.6%，次いで「今のままでよい」が27.6%

「わからない」と答えた人が40.6%と最も多く、次いで「今のままでよい」(27.6%)、「もっと推進すべき」(23.4%)、「あまり進めない方がよい」(2.3%)となっています。

[前回調査との比較]

今回調査においては設問回答者を問9①で「現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない」、「現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない」と回答した人に限定しているため、前回調査時の設問（全員回答）との比較については参考資料として掲載している。



[回答者の属性別]

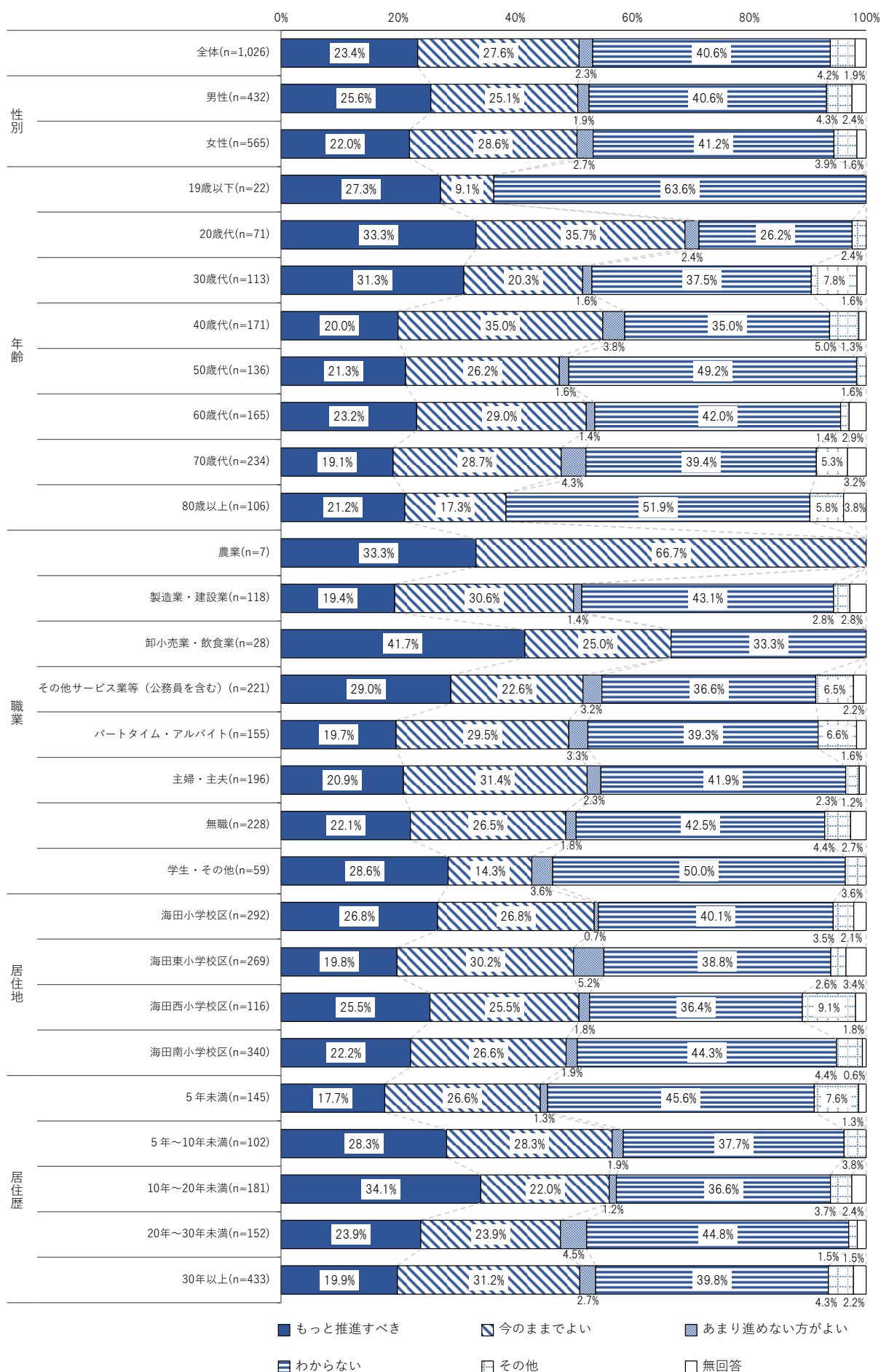
性別でみると、大きな違いはありませんでした。

年齢でみると、「もっと推進すべき」では40歳未満の年齢では30%前後、40歳以上の年齢では20%前後と年齢層によってやや差がみられます。

職業でみると、「卸小売業・飲食業」では“もっと推進すべき”が41.7%と最も高くなっています。

居住地でみると、大きな違いはありませんでした。

居住歴でみると、「もっと推進すべき」では「10年～20年未満」が34.1%と最も高く、「5年未満」(17.7%)、「30年以上」(19.9%)が低くなっています。

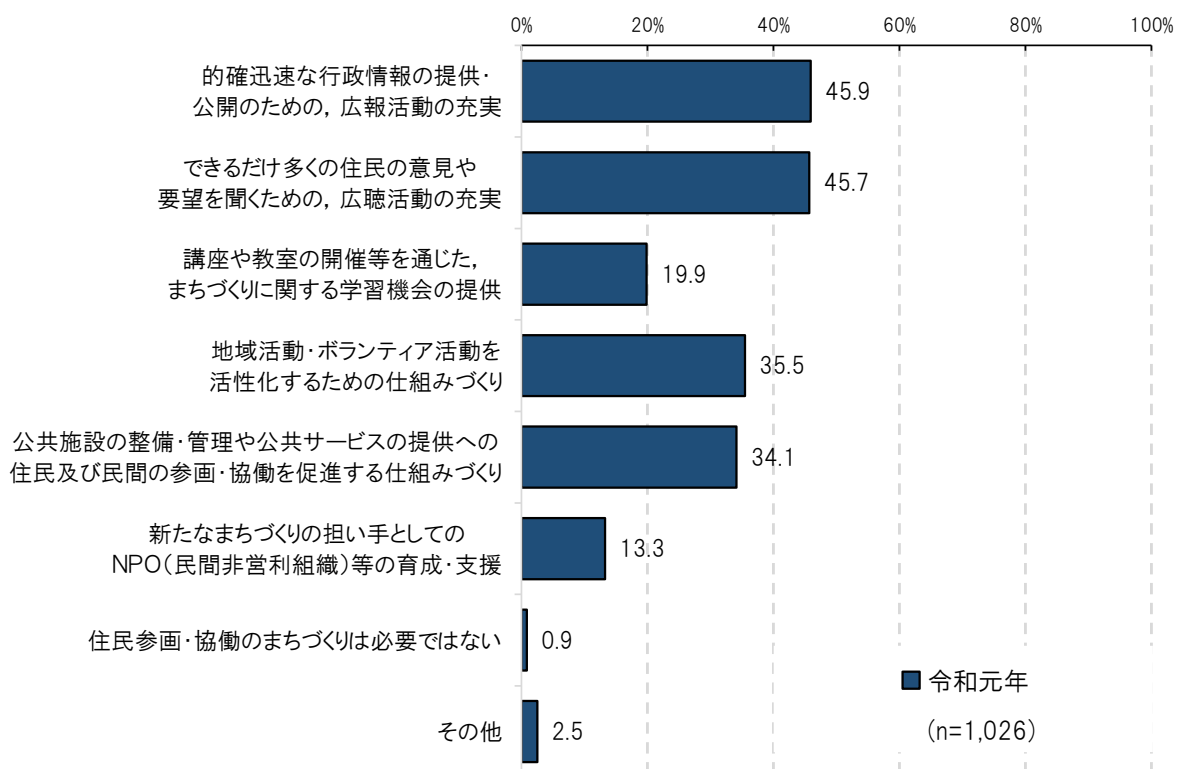


(2) 住民参画・協働のまちづくり

問 10 これからのまちづくりは、より多くの住民の皆さんが町政に参画して、課題解決や地域づくりを行う「住民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「住民参画・協働のまちづくり」を進めるためには、行政に何が必要だと思いますか。(3つまで○印)

「的確迅速な行政情報の提供・公開のための、広報活動の充実」が 45.9%，次いで「できるだけ多くの住民の意見や要望を聞くための、広聴活動の充実」が 45.7%

「的確迅速な行政情報の提供・公開のための、広報活動の充実」と答えた人が 45.9%と最も多く、次いで「できるだけ多くの住民の意見や要望を聞くための、広聴活動の充実」(45.7%)、「地域活動・ボランティア活動を活性化するための仕組みづくり」(35.5%)、「公共施設の整備・管理や公共サービスの提供への住民及び民間の参画・協働を促進する仕組みづくり」(34.1%)などの順となっています。



5 これからのまちづくりについて

(1) 特色あるまちづくり

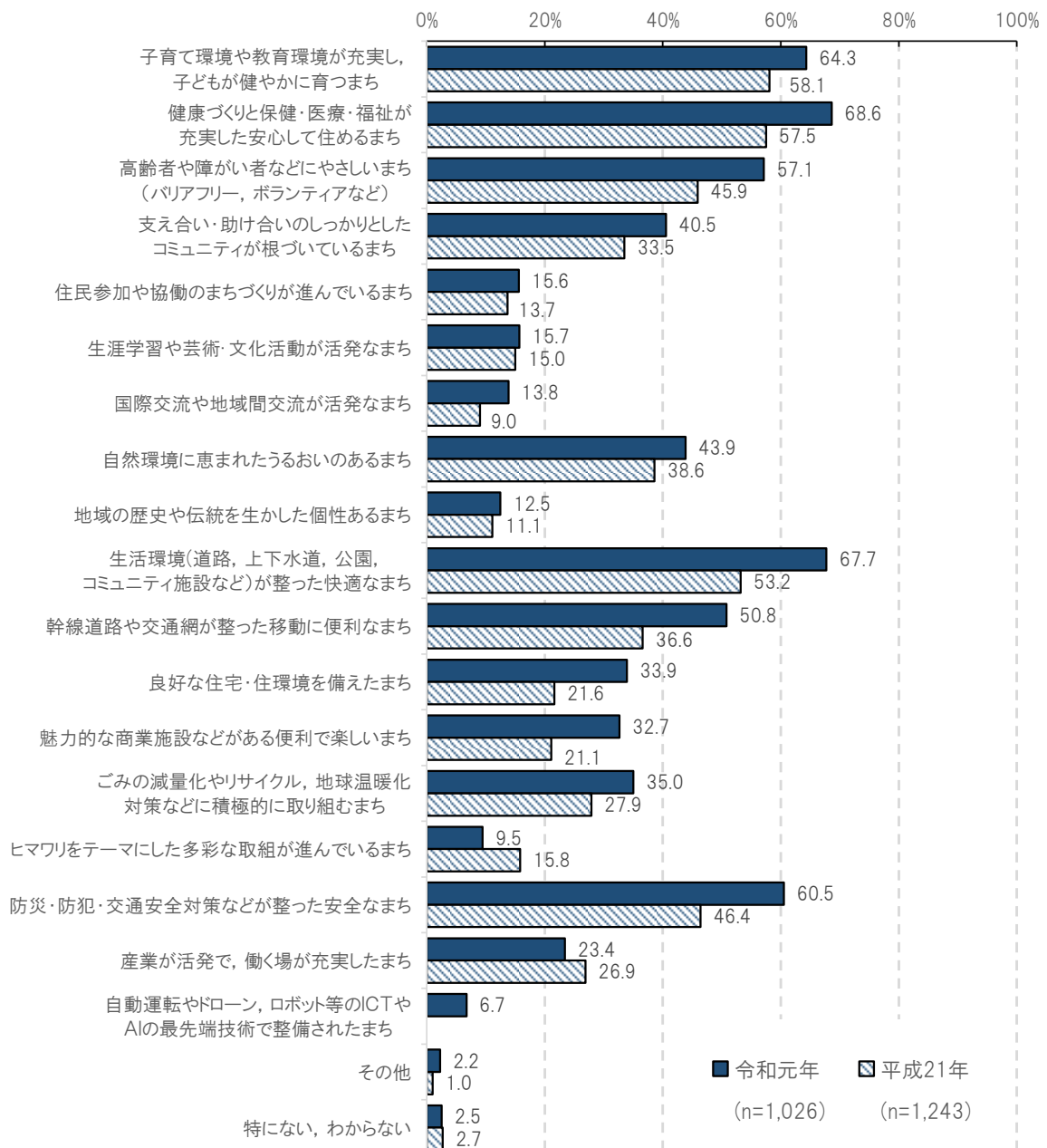
問 11 あなたは、将来、海田町がどんな特色のあるまちになることを望まれますか。(あてはまるものすべてに○印)

「健康づくりと保健・医療・福祉が充実した安心して住めるまち」が 68.6%，次いで「生活環境(道路，上下水道，公園，コミュニティ施設など)が整った快適なまち」が 67.7%

「健康づくりと保健・医療・福祉が充実した安心して住めるまち」と答えた人が 68.6%と最も多く，次いで「生活環境(道路，上下水道，公園，コミュニティ施設など)が整った快適なまち」(67.7%)，「子育て環境や教育環境が充実し，子どもが健やかに育つまち」(64.3%)，「防災・防犯・交通安全対策などが整った安全なまち」(60.5%)，「高齢者や障がい者などにやさしいまち(バリアフリー，ボランティアなど)」(57.1%)などの順となっています。

[前回調査との比較]

最も回答の多い「健康づくりと保健・医療・福祉が充実した安心して住めるまち」(68.6%)は前回調査では第2位の 57.5%となっており，回答は 11.1 ポイントの増加となっています。次いで回答の多い「生活環境(道路，上下水道，公園，コミュニティ施設など)が整った快適なまち」(67.7%)は前回調査では第3位の 53.2%となっており，回答は 14.5 ポイントの増加となっています。また，前回調査と比較して増加している回答については，「高齢者や障がい者などにやさしいまち(バリアフリー，ボランティアなど)」(11.2 ポイント)，「幹線道路や交通網が整った移動に便利なまち」(14.2 ポイント)，「良好な住宅・住環境を備えたまち」(12.3 ポイント)，「魅力的な商業施設などがある便利で楽しいまち」(11.6 ポイント)などとなっています。



(2) 地区の将来像

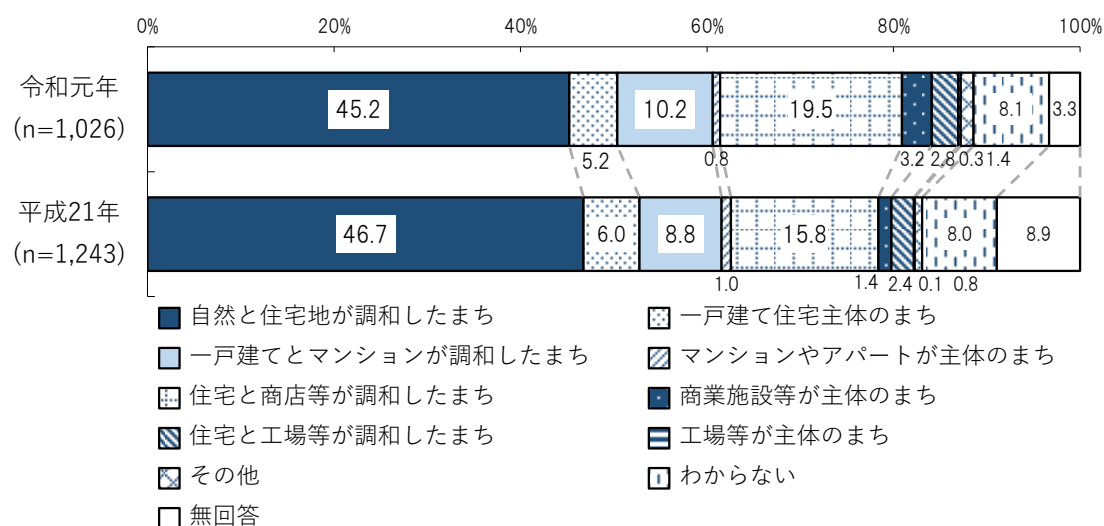
問 12 あなたのお住まいの地区の将来像（主として土地利用）として、どのような姿を望まれますか。（1 つに○印）

「自然と住宅地が調和したまち」が 45.2%，次いで「住宅と商店等が調和したまち」が 19.5%

地区の将来像については、「自然と住宅地が調和したまち」（45.2%）が最も多く、次いで「住宅と商店等が調和したまち」（19.5%）、「一戸建てとマンションが調和したまち」（10.2%）、「一戸建て住宅主体のまち」（5.2%）などの順となっています。また、「わからない」が 8.1%となっています。

[前回調査との比較]

「住宅と商店等が調和したまち」が 3.7 ポイントとやや増加していますが、全体的に大きな違いはありませんでした。



[回答者の属性別]

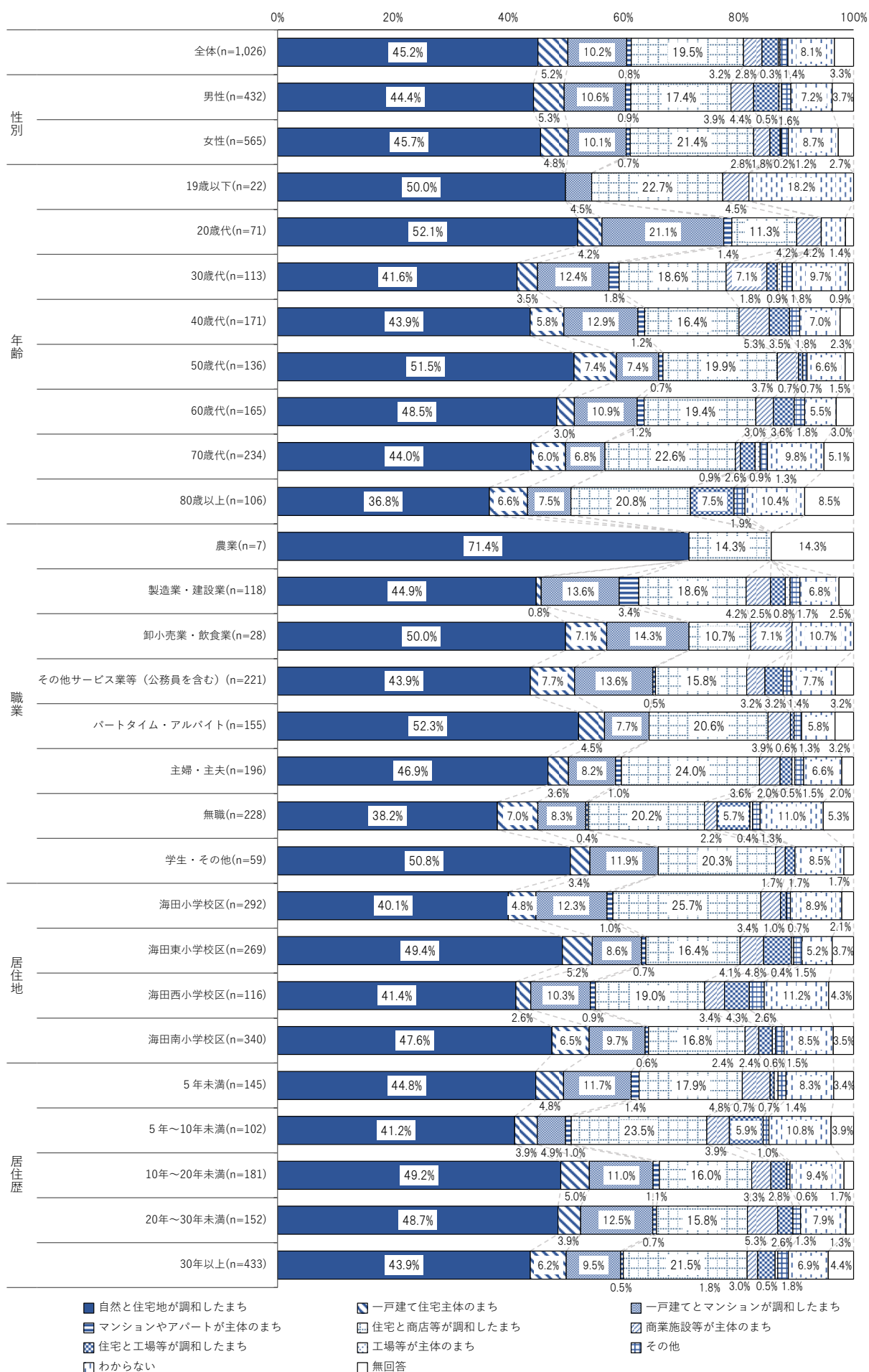
性別でみると、大きな違いはありませんでした。

年齢でみると、「20 歳代」では「一戸建てとマンションが調和したまち」が他の年齢に比べてやや高くなっています。

職業でみると、「住宅と商店等が調和したまち」では「主婦・主夫」が 24.0%でやや高く、「卸小売業・飲食業」が 10.7%でやや低くなっています。

居住地でみると、「住宅と商店等が調和したまち」では「海田小学校区」が 25.7%でやや高くなっています。

居住歴でみると、「10 年～20 年未満」では「マンションやアパートが主体のまち」が 4.9%で他の層よりやや低くなっています。

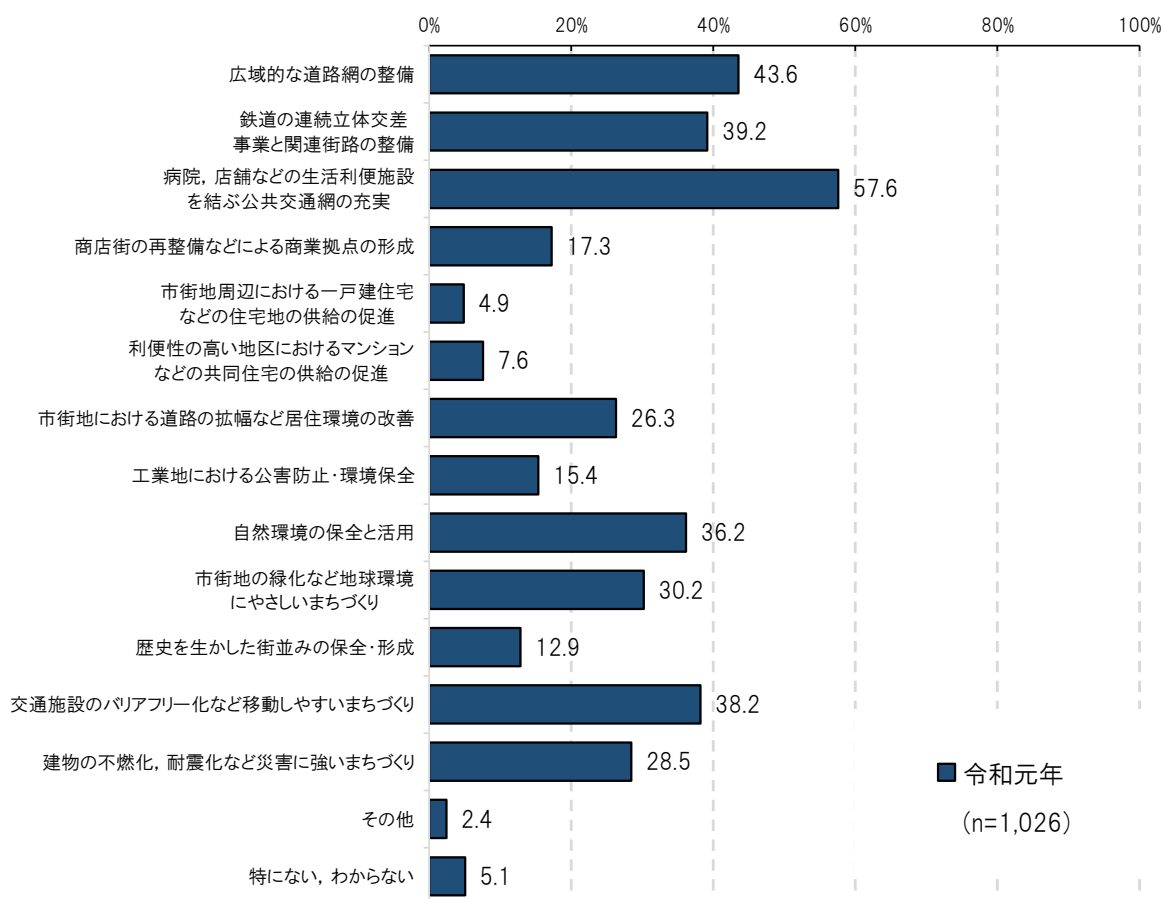


(3) 町の都市づくり

問 13 あなたは、町の都市づくりについて、今後どのような取組が重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

「病院、店舗などの生活利便施設を結ぶ公共交通網の充実」が 57.6%，次いで「広域的な道路網の整備」が 43.6%

「病院、店舗などの生活利便施設を結ぶ公共交通網の充実」と答えた人が 57.6%と最も多く、次いで「広域的な道路網の整備」(43.6%)、「鉄道の連続立体交差事業と関連街路の整備」(39.2%)、「交通施設のバリアフリー化など移動しやすいまちづくり」(38.2%)、「自然環境の保全と活用」(36.2%)などの順となっています。

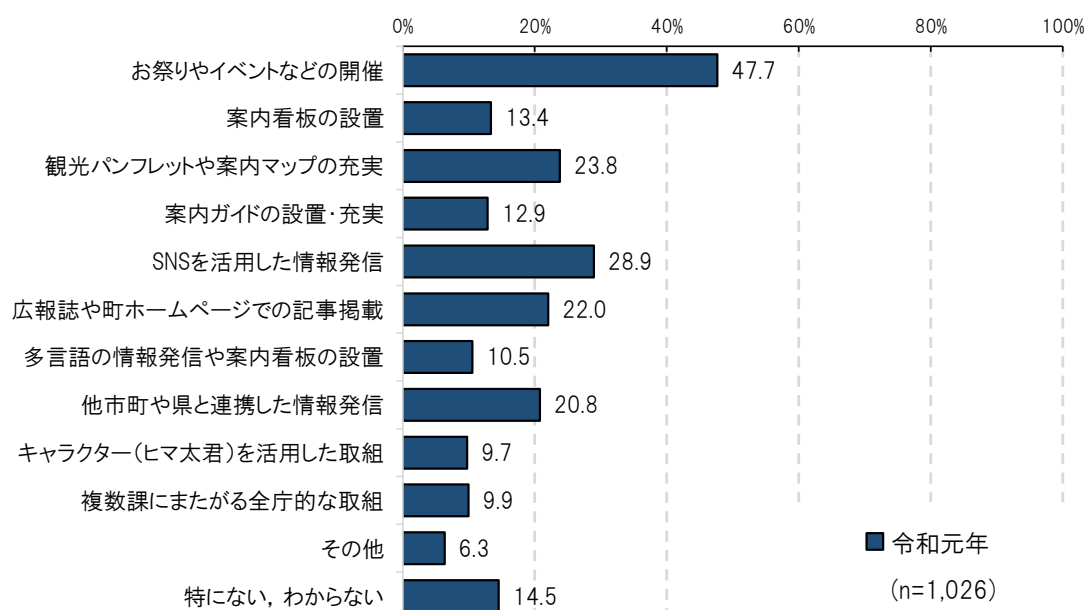


(4) 訪問人数の増加

問 14 あなたは、海田町への訪問人口を増やすためにはどのような取組に力を入れる必要があると思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

「お祭りやイベントなどの開催」が47.7%，次いで「SNSを活用した情報発信」が28.9%

「お祭りやイベントなどの開催」と答えた人が47.7%と最も多く、次いで「SNSを活用した情報発信」(28.9%)、「観光パンフレットや案内マップの充実」(23.8%)、「広報誌や町ホームページでの記事掲載」(22.0%)、「他市町や県と連携した情報発信」(20.8%)などの順となっています。

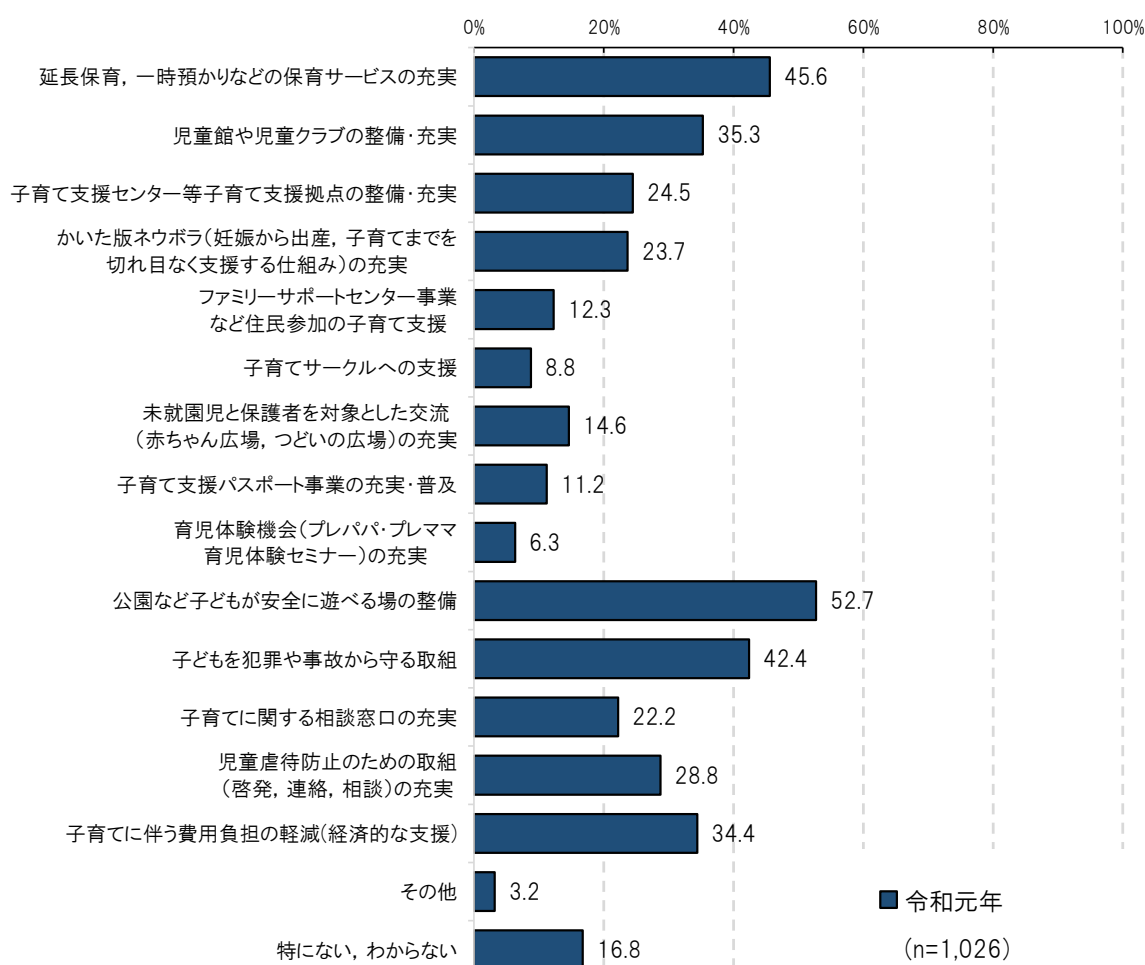


(5) 子育て支援

問 15 あなたは、子育て支援に関して、今後、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

「公園など子どもが安全に遊べる場の整備」が 52.7%，次いで「延長保育，一時預かりなどの保育サービスの充実」が 45.6%

「公園など子どもが安全に遊べる場の整備」と答えた人が 52.7%と最も多く，次いで「延長保育，一時預かりなどの保育サービスの充実」(45.6%)，「子どもを犯罪や事故から守る取組」(42.4%)，「児童館や児童クラブの整備・充実」(35.3%)，「子育てに伴う費用負担の軽減(経済的な支援)」(34.4%)などの順となっています。

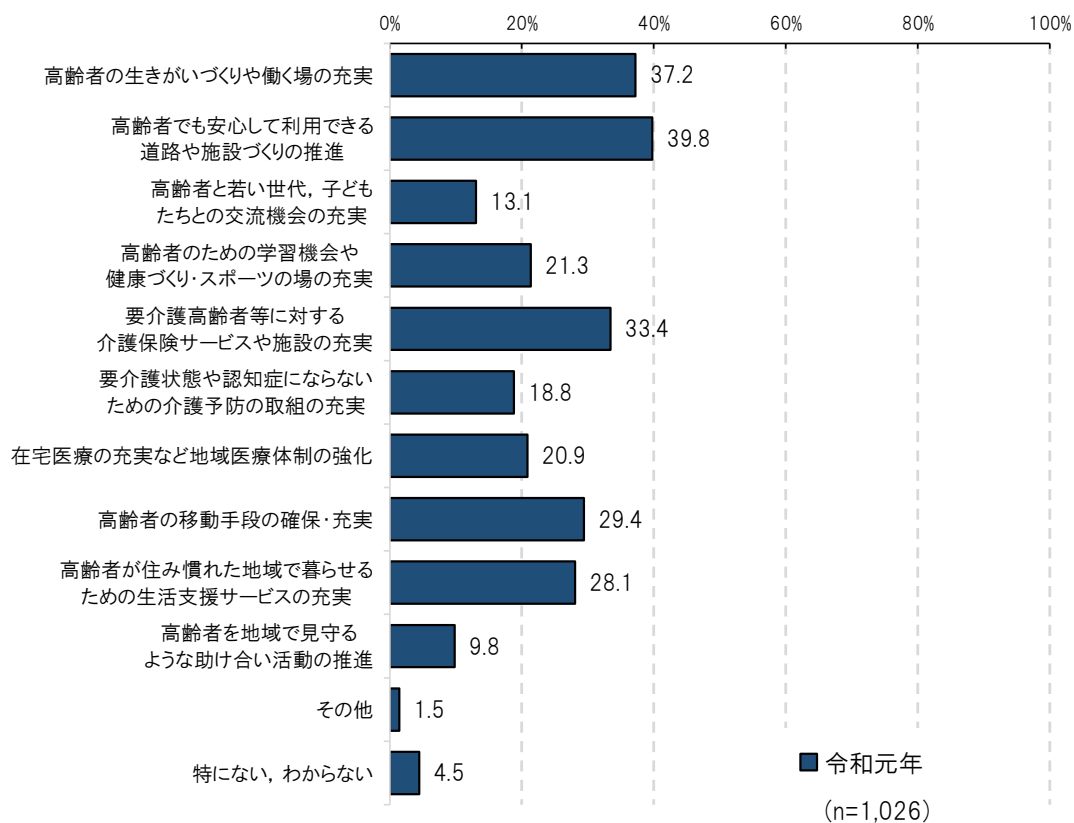


(6) 高齢社会への対応

問 16 あなたは、高齢社会に対応するためどのような取組が重要だと思いますか。(3つまで○印)

「高齢者でも安心して利用できる道路や施設づくりの推進」が 39.8%，次いで「高齢者の生きがいづくりや働く場の充実」が 37.2%

「高齢者でも安心して利用できる道路や施設づくりの推進」と答えた人が 39.8%と最も多く，次いで「高齢者の生きがいづくりや働く場の充実」(37.2%)，「要介護高齢者等に対する介護保険サービスや施設の充実」(33.4%)，「高齢者の移動手段の確保・充実」(29.4%)，「高齢者が住み慣れた地域で暮らせるための生活支援サービスの充実」(28.1%)などの順となっています。

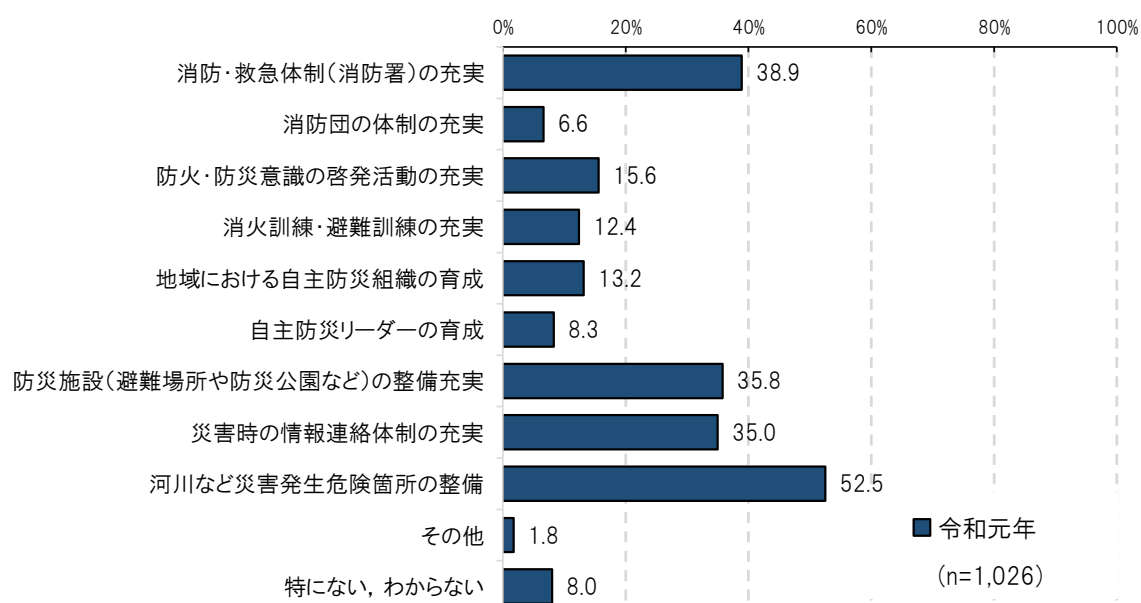


(7) 消防・防災対策

問 17 あなたは、町の消防・防災対策について、今後どのような取組が必要だと思いますか。(3つまで○印)

「河川など災害発生危険箇所の整備」が 52.5%，次いで「消防・救急体制（消防署）の充実」が 38.9%

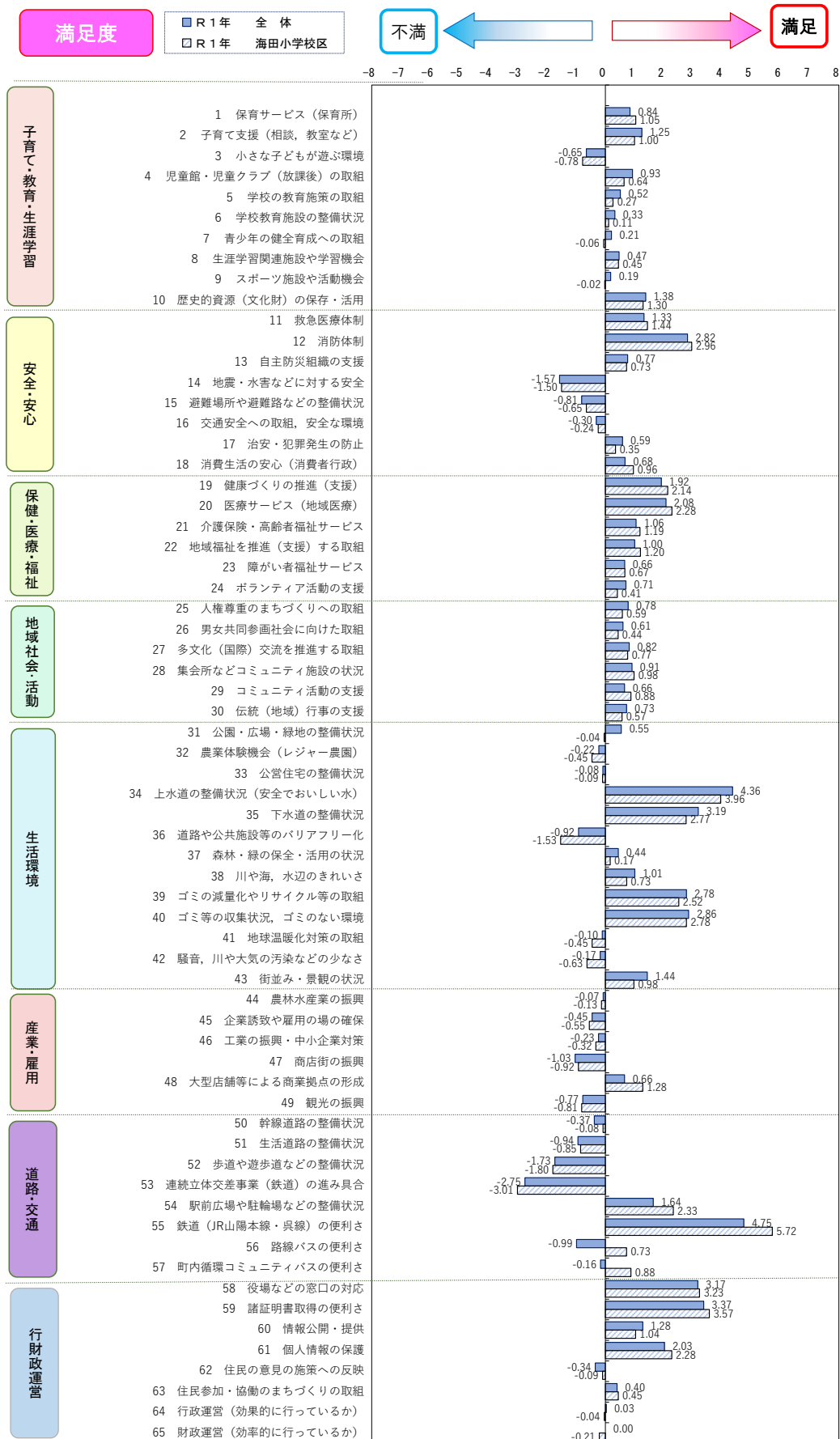
「河川など災害発生危険箇所の整備」と答えた人が 52.5%と最も多く，次いで「消防・救急体制（消防署）の充実」(38.9%)，「防災施設（避難場所や防災公園など）の整備充実」(35.8%)，「災害時の情報連絡体制の充実」(35.0%)，「防火・防災意識の啓発活動の充実」(15.6%)などの順となっています。



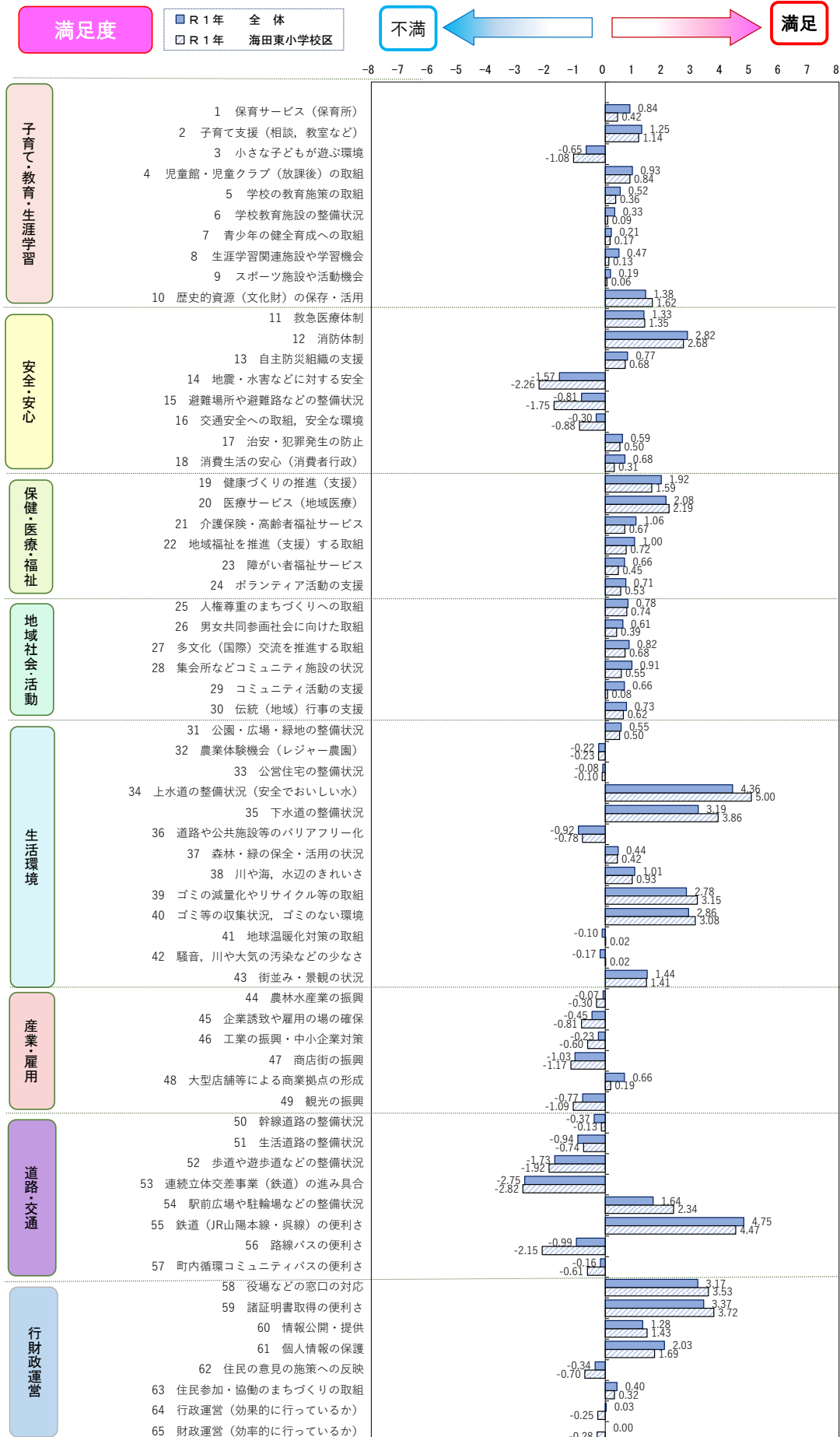
III 資料

1 地域別満足度

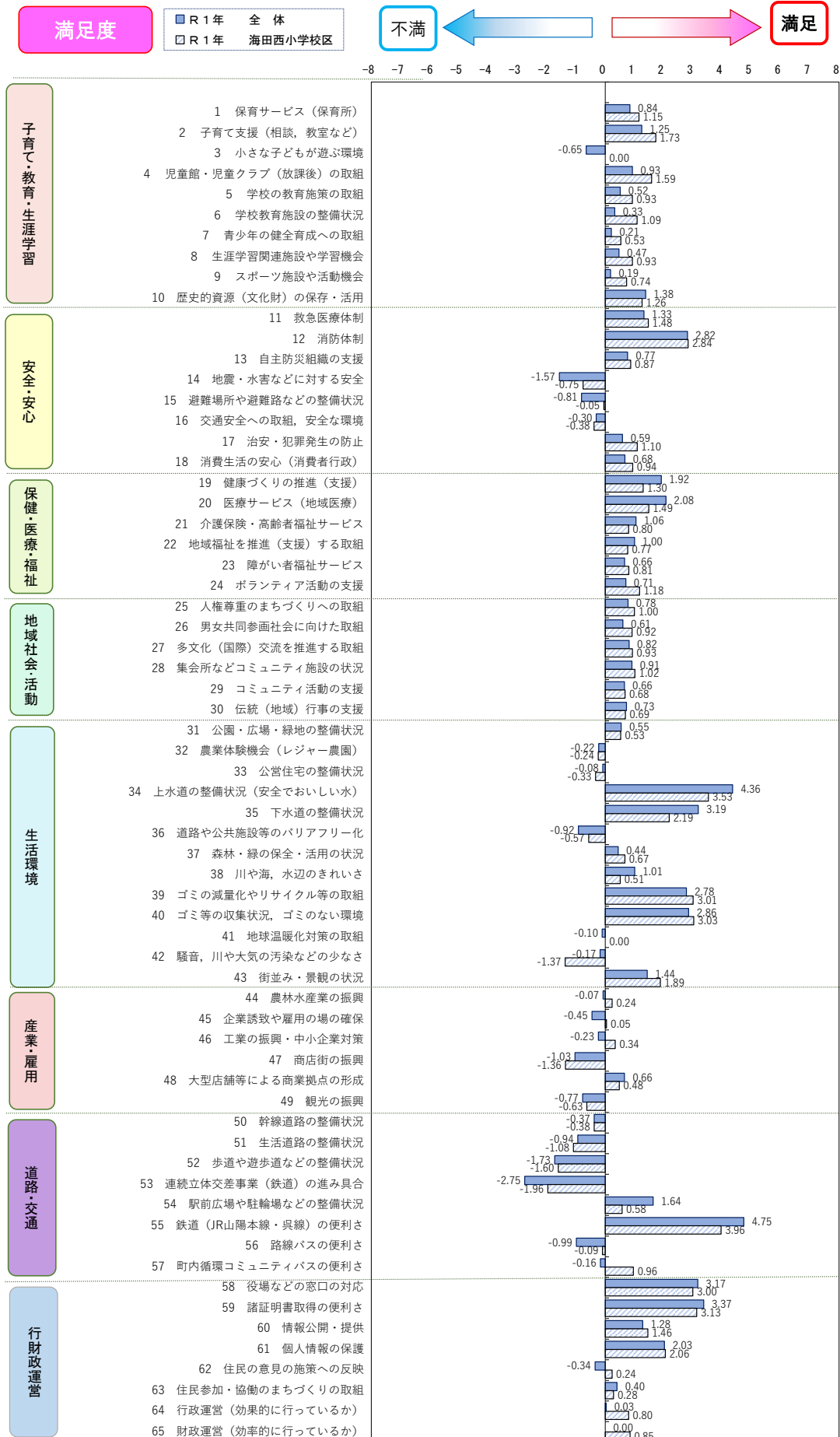
(1) 海田小学校区



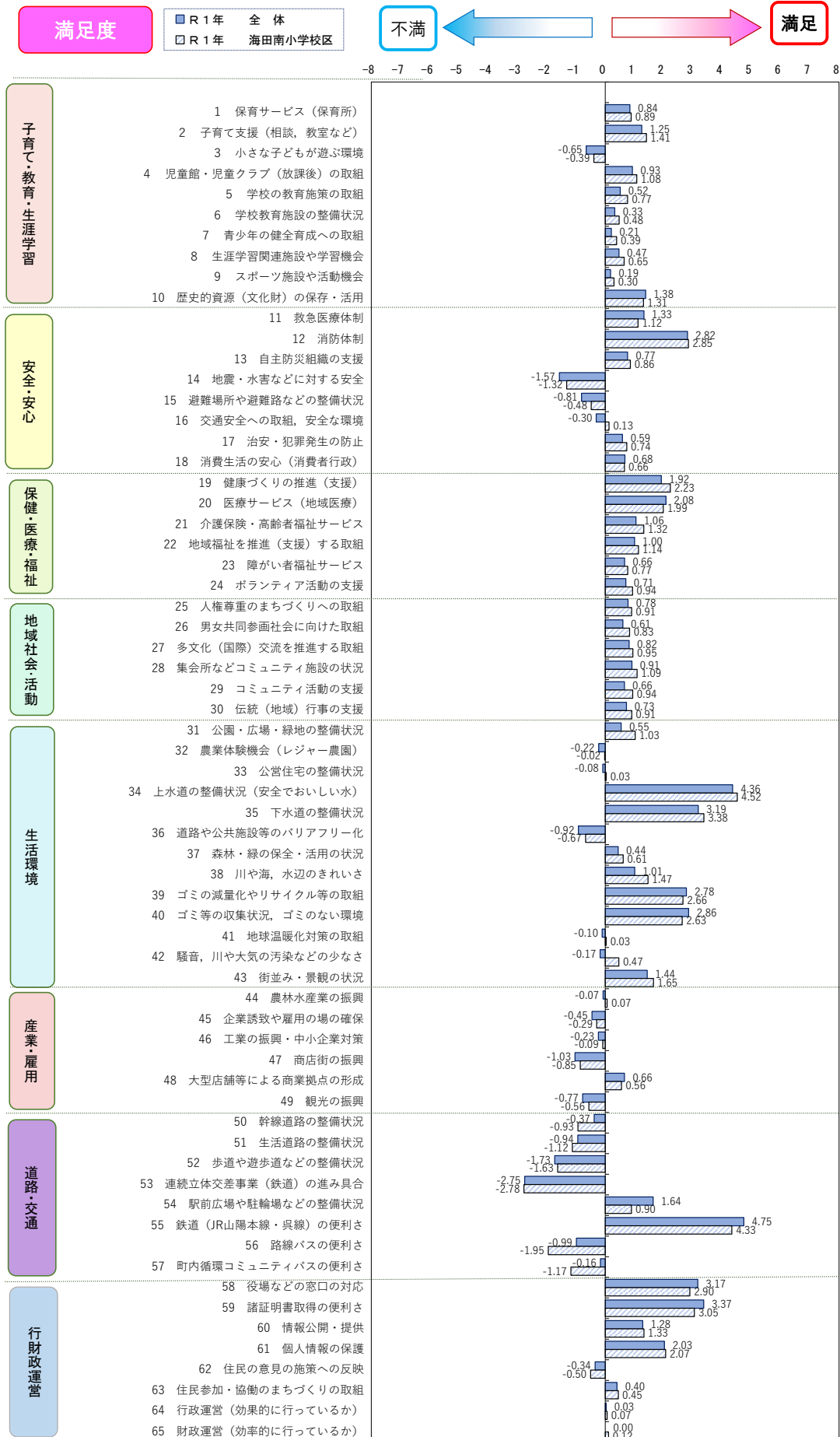
(2) 海田東小学校区



(3) 海田西小学校区

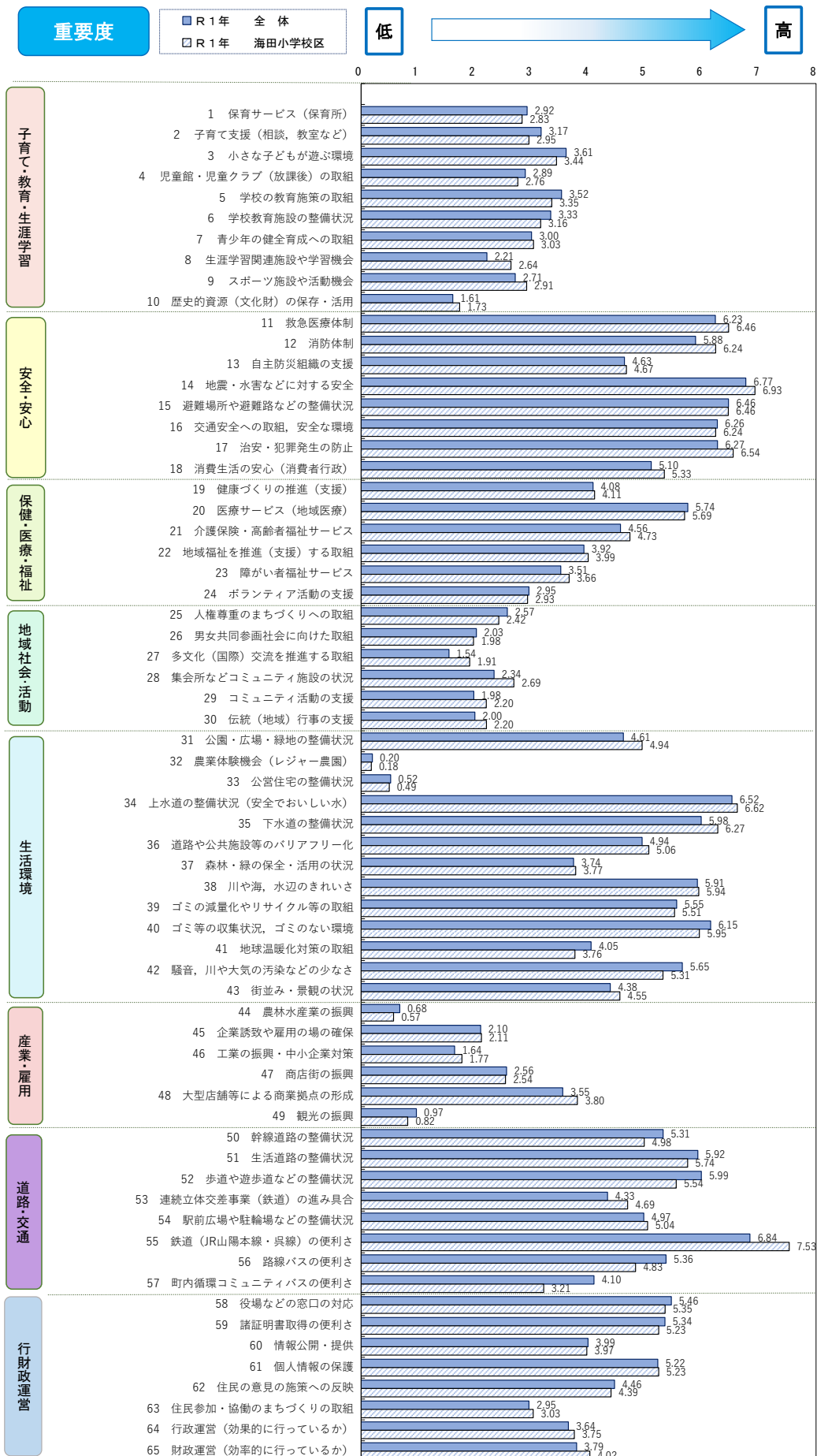


(4) 海田南小学校区

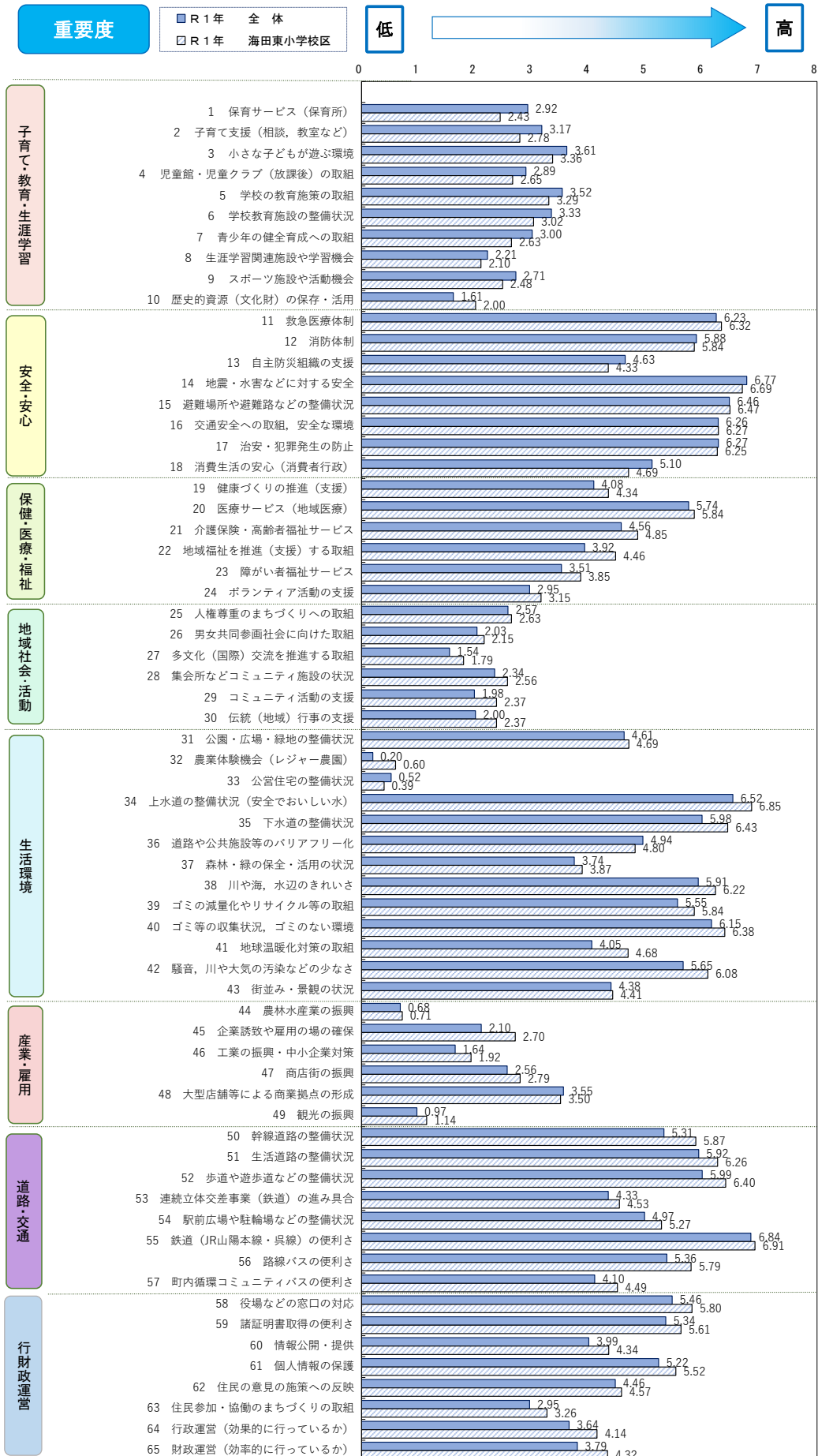


2 地域別重要度

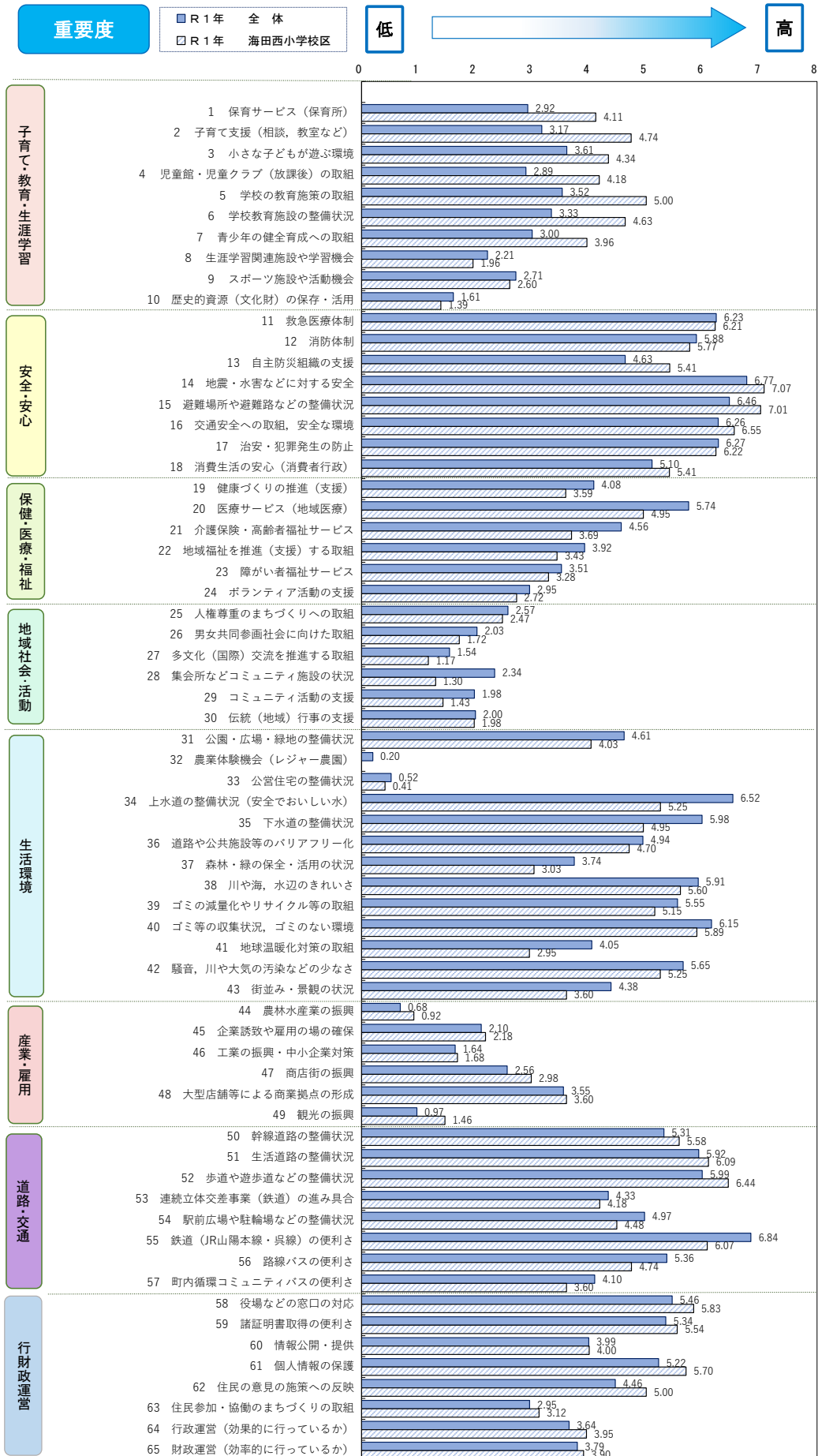
(1) 海田小学校区



(2) 海田東小学校区



(3) 海田西小学校区



(4) 海田南小学校区

